

2026 学生生活の手引

東京学芸大学

TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY
Guidebook for Student's Life 2026





新たな学びへの扉を開く新入生の皆さんへ

学長 佐々木 幸寿

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、今、春の陽光の中で、この東京学芸大学のキャンパスに立ち、これからはじまる学生生活に夢を、思いを馳せていることと思います。私たち教職員一同は、皆さんを東京学芸大学の新しい仲間として、心から歓迎いたします。

皆さんは、この東京学芸大学で、新たな学びの扉を開き、未知なるステージへと歩み出しました。大学での探求は、すでにある知識を身に付けるいわゆる受験勉強とは本質的に異なります。自ら問いを立て、深く考え、他者との対話を通じて、自らを成長させていくプロセスそのものです。授業、研究活動、実習、そして課外活動や新しい友人との出会い。ここ東京学芸大学での一つひとつの経験が、皆さんの視野を広げ、未来を力強く切り拓く力を育んでくれるでしょう。失敗を恐れず、果敢に挑戦してほしいと思います。

しかし、新しい環境への適応に戸惑ったり、困難な問題を抱えて悩んだりすることもあると思います。そんなときは、どうぞ遠慮なく、勇気をもって教職員に声をかけてください。本学は、皆さんの学びと成長を全力でサポートすることをお約束します。

大学生活は、自由である一方で、自らを律する姿勢も求められます。社会の一員として、多様性を尊重し、責任ある行動を心がけてほしいと思います。皆さんの充実した学生生活のために、諸手続、福利厚生、課外活動、就職や留学、図書館や保健管理センターなどについての情報をまとめた「学生生活の手引き」を、キャンパスライフのガイドとして是非活用していただきたいと思います。この手引きが、安心で実りある学生生活の支えとなることを願っております。

皆さん一人ひとりが本学の一員として誇りを持ち、学び合い、高め合うことを期待しています。新入生の皆さんのこれからの活躍を心より祈念しております。

学生生活の手引

TOKYO
GAKUGEI
UNIVERSITY
Guidebook for Student's Life 2026

目次

1 はじめに

①事務組織	9
②指導教員・顧問教員について	12
③オフィスアワー	12

2 諸手続き一覧

身分異動・単位認定関係	13
授業関係／各種証明書関係	14
授業料・寄宿料関係／奨学金・寮・就職・保険・学生生活関係	15
課外活動団体関係／講義棟の課外活動利用(施設使用願)	16
体育施設(施設使用願)／厚生施設(施設使用願)	17

3 キャンパスルール

①学生への諸連絡 ②郵便物 ③呼び出し電話等 ④住所・指名等の変更	19
⑤紛失・盗難・拾得物 ⑥火災 ⑦事故等の連絡先について	20
⑧交通機関ストライキの際の休講措置	20
⑨通学について	21
学内自転車駐輪場及び乗入禁止区域／自転車利用時の注意事項	22
⑩省エネルギー・光熱水費節約のお願い	23
⑪キャンパスクリーン作戦(資源ごみの回収と清掃美化)	24
学内各門の開閉時間表	26

4 学生生活

①授業料免除等	27
②奨学金制度	28
日本学生支援機構奨学金	28
東京学芸大学学生奨学金「学芸むさしの奨学金」／その他の奨学金	29
③保険制度	
学生教育研究災害傷害保険（通学中等傷害危険担保特約）／ 学研災付帯賠償責任保険	29
④学寮・国際学生宿舎	
入退寮等／寄宿料／その他	30
⑤学生旅客運賃割引証（学割証）	
使用方法／発行手続／注意事項	31
⑥通学定期券	31
⑦ボランティア活動	32
⑧学生相談について	
相談内容と担当部署	32
⑨学生相談室	
相談例／相談員と開室日時	33
⑩障がい学生支援室	34
⑪キャンパスメンバーズについて	35
⑫施設案内	
学生ラウンジ／コミュニティセンター／ 第1むさしのホール・第2むさしのホール／ 図書館カフェ「note cafe」	36
⑬東京学芸大学生生活協同組合（生協）について	
食堂・売店等／アルバイトの紹介／下宿・アパートの紹介	37
むさしのホール施設店舗紹介（通常期）	38

5 課外活動

①課外活動の諸手続

課外活動団体の設立及び継続	39
課外活動用物品の貸与	39
施設の使用（講義棟・サークル棟）	40
体育施設の使用／テニスコートの夜間使用／集会／	41
学内諸活動（物品販売・署名運動等）	
掲示物／学外活動・大会開催	42

②課外活動団体

文化系団体／その他の団体	43
体育系団体／学獅会	44

③全学行事

小金井祭(学園祭)／サークルリーダー研修	45
----------------------	----

④合宿研修施設等

学内学生合宿所	45
レイクロッジヤマナカ／八王子セミナーハウス	46

6 キャリア支援・就職

①学生キャリア支援室	48
②就職相談員	48
③就職資料等の閲覧	48
④就職専用掲示板	48
⑤進路状況	49

7 国際交流

①海外留学	51
交換留学制度	52
大学間交流協定の締結／大学間交流協定（学生交流）締結校一覧	
短期留学プログラム	53
②外国人留学生の受入れ	54
③国際交流会館	54

8 附属図書館

①開館時間	55
②休館日	55
③蔵書	
蔵書数	55
特色あるコレクション	56
④図書館の利用にあたって	
館内閲覧／館外貸出／参考調査・相互利用／学習サポート／	
図書館ホームページ	57
ラーニングcommons／	
情報アシスタントによる相談窓口／その他	58

9 保健管理センター

①学生健康相談・診療	
身体健康相談・診療／心健康相談（カウンセリング）・診療	59
②応急処置	60
③健康診断	
定期健康診断／特殊健康診断／	
健康診断証明書発行	60
④健康教育	60
アルカディア	60
⑤物品貸出	61
⑥保健管理センター利用時間	61

10 ICT／情報基盤センター

①パスワードを忘れたら	63
②ネットワーク環境	64
③情報システム	64
④問合わせ	64

11 大学の概要

①沿革	65
沿革表	66
②組織	
教育学部組織	67
大学院（修士課程・教職大学院）組織	68
大学院（博士課程）組織	69
特別支援教育特別専攻科組織	69

12 資料

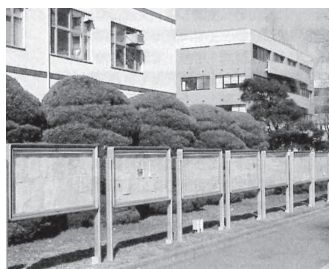
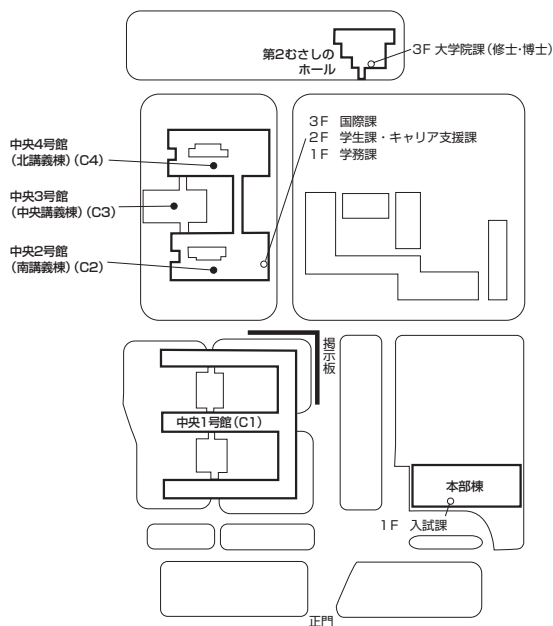
東京学芸大学施設所在地一覧	72
東京学芸大学の校章について	73
東京学芸大学学生歌 『若草もゆる』	73
東京学芸大学及び附属学校の位置図	76
講義室案内	77
教室収容定員一覧	78
中央2号館（南講義棟）(C2) 平面図	79
中央3号館（中央講義棟）(C3) 平面図	80
中央4号館（北講義棟）(C4) 平面図	81
西4号館（西講義棟）(W4 (110)) 平面図	82
西4号館（西講義棟）(W4) 平面図	83
東7号館（E7）平面図	84
図書館（大学院アクティブラーニングセンター）平面図	85
小金井キャンスマップ（東京学芸大学小金井地区建物配置図）	巻末

1 はじめに

1 事務組織

東京学芸大学では事務組織として「事務局」を置いています。「事務局」の各課・各窓口では、皆さんの学生生活全般に関する事務を担当しています。次ページ以降にそれぞれの担当業務等を掲載します。各種手続を行う場合や何か質問をしたい場合には、直接各課・各窓口まで来てください。（緊急事態や重大用件への対応を除き、電話による手続や質問は受け付けられません。）

後に掲載した「キャンパスルール」でも繰り返しますが、学生の皆さんへの連絡は、「学芸ポータル」やメールおよび中央1号館（C1）北側・東側及び学務課事務室前に設置している掲示板で行います。大変重要な連絡が多いため、頻繁に確認する習慣を身につけてください。連絡を見落としたことが原因で、「単位が修得できない」「4年間で卒業できない」「行事に参加できない」「各種手続が行えない」等の重大な不利益を被り、学生生活に大きな支障がでしまう可能性もあります。十分注意してください。



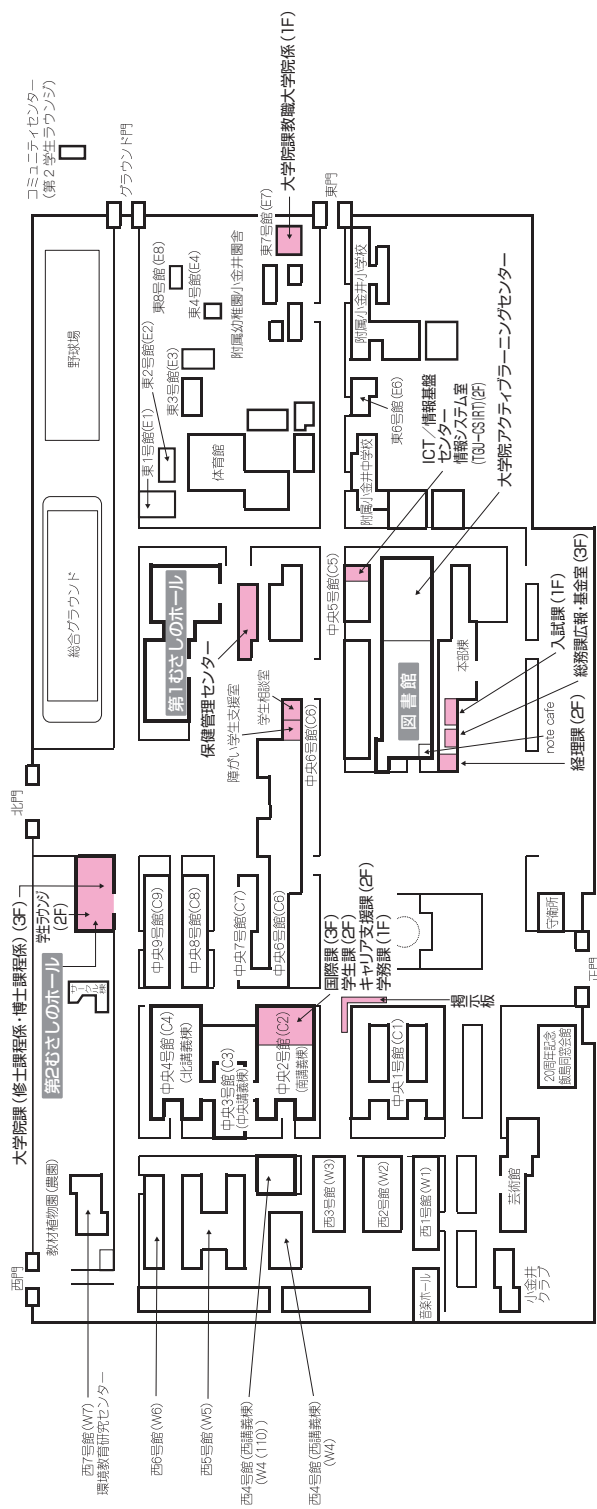
掲示板 (東側)



掲示板 (北側)

対応部署(窓口)	場 所	取 扱 業 務	受付時間
学務課	中央2号館 (南講義棟)(C2) 1階	(学部生) 学生情報トータルシステムに関すること 履修・成績・資格に関すること 学生身分に関すること 休学・復学・転類・退学・除籍など 学生証の発行・再発行 各種証明書(在学証明書・卒業見込証明書・成績証明書) 多摩地区国立5大学単位互換に関すること 講義棟・教室の設備、管理に関すること 学部科目等履修・特別聴講学生及び派遣学生に関すること 公欠に関すること	授業期間 8:15~16:45 授業休業期間 8:30~12:00 13:00~16:45
大学院課 教職大学院係	東7号館(E7) 1階	(大学院生) 各課程の授業・履修・成績に関すること 学生身分・学籍に関すること(休学・復学・退学・除籍など) 学生証の発行・再発行 各種証明書(在学証明書・修了見込証明書・成績証明書等) 学位論文(修士)・専門学術論文(教職大学院)の受付・修了認定	8:30~12:00 13:00~16:45
大学院課 修士課程係	第2 むさしのホール 3階	(大学院生) 博士課程の授業・履修・成績に関すること 学生身分・学籍に関すること(休学・復学・退学・除籍など) 学生証の発行・再発行 各種証明書(在学証明書・修了見込証明書・成績証明書・通学証明書等) 研究論集の発行 学位論文の受付・修了認定・学位授与	
学生課	中央2号館 (南講義棟)(C2) 2階	授業料免除・徴収猶予、奨学金、拾得物、通学証明書、 自転車登録に関すること、学生相談、学生教育研究災害 傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険に関すること、課 外活動に関すること、学内施設及び物品の貸出、学生寮 に関すること、むさしのホール使用手続き	授業期間 8:30~16:45 授業休業期間 8:30~12:00 13:00~16:45
キャリア支援課		キャリア支援・就職支援に関すること ボランティア、インターンシップ、自己創造のための教育体験活動に関すること	
入試課	本部棟 1階	本学の入学者選抜に関すること 学部(一般・学校推薦型・総合型・帰国生・私費外国人 留学生・国際バカロレア・編入学・高大接続プログラム) 大学院(教職大学院・修士課程・博士課程) 特別支援教育特別専攻科 大学入学共通テスト	9:00~12:00 13:00~17:00
国際課	中央2号館 (南講義棟)(C2) 3階	海外派遣留学生の募集及び選考に関すること 外国人留学生に関すること 短期留学プログラムの企画・運営に関すること 国際交流会館等の外国人留学生等の入居に関すること	授業期間 8:30~16:45 授業休業期間 8:30~12:00 13:00~16:45
総務課広報・基金室	本部棟 3階	大学の広報事業に関すること 高校生等の大学見学に関すること 東京学芸大学基金に関すること	9:00~12:00 13:00~17:00
経理課	本部棟 2階	入学料・授業料納入に関すること(口座引落)	8:30~12:00 13:00~17:00
学生相談室	中央6号館(C6) 1階	学生生活に関する相談	10:00~17:00
障がい学生支援室	中央6号館(C6) 1階	障がいのある学生に関する支援・相談等	9:00~16:00
保健管理センター	保健管理センター	健康の保持増進に関すること 健康相談・診療・カウンセリング・応急処置 健康診断証明書発行・健康教育など	9:30~12:30 13:30~16:30
ICT/情報基盤 センター 情報システム室 (TGU-CSIRT)	中央5号館(C5) (東側) 2階	学内情報システム及びネットワークの利用に関すること 大学発行アカウントの利用やパスワードに関すること (TGU-CSIRT)情報セキュリティに関すること Web : https://www2.u-gakugei.ac.jp/~ipcenter/	9:00~12:00 13:00~17:00

*なお、土曜日・日曜日・祝日・学長が指定する夏季一斉休業期間・年末年始の休業期間・
大学入学者選抜に伴う期間・その他大学で指定した日は窓口の受付を行いません。



2 指導教員・顧問教員について

本学では、教職員と学生との結びつきを密にするため、特に次の制度を設けてありますので十分活用してください。

◆指導教員

指導教員には、皆さんの所属する課程・専攻・コース・プログラムを所管する教室の教員があたり、皆さんの修学、進路等学生生活全般にわたり指導・助言を行うことになっています。

単位の修得や成績、進路の選択、就職、友人関係など皆さんの悩みを率直に指導教員に提示し、自らの学生生活を積極的に切り開くことを望んでいます。

また、指導教員は、担当する学生が休学・復学・退学・奨学金等について出願する際、学生から事情をきいて学長に具申するなどの仕事も受け持ち、皆さんの学生生活に密接な関係を維持し、支援・指導にあたります。

◆顧問教員

学生の皆さんの課外活動については、各サークルの顧問教員が相談に応じ、助言を行います。また、サークル部員の個人的な相談にも応じます。

団体の設立・継続を願い出るときは、顧問教員がいないと承認されません。

3 オフィスアワー

本学では、学生が学内で快適な生活をおくり、学習・研究に専念できるよう、教員が学生からの授業や修学に関する質問・相談を受け、支援するための時間帯を設定したオフィスアワー制度を実施しています。

教員ごとの詳しい情報は「学生情報ータルシステム」にて確認してください。

- ・設定時間に変更がある場合は、その都度、研究室に掲示しますので、確認してください。
- ・教員からの要請により、事前にアポイントが必要な場合は、該当の教員の指示を受けてください。

諸手続き一覧

様々な手続きや届出を行う学務部窓口は、皆さんが学生生活を送る上で頻りに利用するところです。自分の要件はどの窓口が担当なのかを把握し、時間を守って利用してください。

◆身分異動・単位認定関係

種 別	担 当 係	提 出 期 限	備 考 (添付書類等)
休学願	[学部] 学務課 3 番窓口 教務第二係 教務企画係	その都度 (休学開始 希望日の約 1 か月前)	・指導教員の意見書 ・病気の場合は医師の診断書 (大学院は不要) ・休学期間は通算 2 年間 ・休学申請日・退学希望日の 属する学期分の授業料納付 済が許可条件となる。詳し くは担当係へ
復学願		その都度 (復学開始 希望日の約 1 か月前)	
退学願	[特別専攻科] 学務課 1 番窓口 教育実習係	その都度	
転類等願 (学部のみ)	[修士課程] 大学院課 修士課程係	12月中旬	・転類等を希望する者は秋学 期に実施する説明会への参 加が必要。
氏名変更届 本籍地変更届		その都度	
住所 (住所・名称) 変更届 緊急連絡先変更届 連帯保証人変更届			
既修得単位の認定	[学部]学務課3番窓口 教務第二係 [修士課程] 大学院課 修士課程係 [教職大学院] 大学院課 教職大学院係	入学した年度の4月末日 (10月入学生においては 10月末日)	[学部] 既修得単位認定申請書、 成績証明書、シラバスなどの資料 [大学院] 既修得単位認定申請書・授業 科目目細書、指導教員意見書、 成績証明書
留学に関する単位の認定		帰国後速やかに	「留学」と認定された者に限る 成績証明書・シラバスなどの資料
大学以外の教育施設等にお ける学修に係る単位の認定	[学部] 学務課 3 番窓口 教務第二係	春学期は 4 月末日まで 秋学期は 10 月末日まで	語学試験の合格証明書等

◆授業関係

【重要】「授業の履修」や、「教育実習」「介護等体験」「教員免許一括申請」等の各種手続は、「スタディガイド」(大学院生は「履修便覧」)をよく読み、学務課・大学院課からの連絡(中央1号館(C1)北側・東側の掲示板と「学芸ポータル」内の掲示、9ページ参照)を確認し、ミスの無いように行ってください。
必要な手続を怠ると、卒業(修了)に大きく影響する場合がありますので、十分注意してください。

種 別	担 当 係	申 請 時 期	備考(添付書類等)
履修登録手続	[学 部]	別途通知する	
追試験願	学務課 3番窓口教務第二係 4番窓口教務第三係	授業終了後1週間以内	・病気の場合は、診断書 その他必要証明書
成績公開	5番窓口教務第四係		
成績評価の問合せ	[特別専攻科] 学務課1番窓口 教育実習係 [修士課程] 大学院課修士課程係 [教職大学院] 大学院課教職大学院係	別途通知する	
教育実習履修申告票	学務課	掲示により通知	
教育実習学生調査票	1番窓口教育実習係	(専用掲示板・学芸ポータル等) ※教員免許状手続について	
教員免許状大学一括申請手続	学務課	では、3月に卒業(修了)	スタディガイド参照
介護等体験手続	5番窓口教務第四係	予定の学生が対象	
公欠の手続き(学部のみ)	学務課 各窓口	学芸ポータル・学生情報ポータルシステムメニュー「公欠」について参照	

◆各種証明書関係

種 別	担 当 係 ()内は電話 042-329-0000	申 請 時 期	備考(添付書類等)
成績証明書	[学 部]	随 時	・自動発行機にて即日発行 (和文/英文も自動発行可)
在学証明書	学務課3番窓口		
修了・卒業見込証明書	教務第二係 教務企画係		
教育職員免許状取得見込証明書	[特別専攻科]		
学力に関する証明書	学務課1番窓口 教育実習係		・申込手続後交付まで1週 間を要する
学生証	[修士課程] 大学院課修士課程係 [教職大学院] 大学院課教職大学院係	新入生は入学手続時 紛失時はその都度	・再交付は願出後1週間 を要する ※紛失・カード破損等の場 合は発行手数料2,000円 が必要
通学証明書 (通学定期券購入用)			・自動発行機にて発行 ・発行前日22時までに学生情報 ポータルシステムにて通学区間 住所等必要事項を入力すること ・P31参照
学生旅客運賃割引証 (長距離移動用)	学生課 3番窓口	随 時	・自動発行機にて発行 ・有効期間は発行日より3か月間 ・P31参照
団体乗車券購入のための 学生団体旅行申込書	学生支援係(7187)		・JR等の指定用紙団体 旅行申込書(8名以上)添付 ・翌日発行
麻しん(風しん) 予防接種証明書	学生課 5番窓口 厚生係(7189)		・必要時、窓口で申込むこと
人物証明書(就職に関するもの) 推薦書 ※教員免許取得に関するものは除く	キャリア支援課 1番窓口 企業就職係(7197) 2番窓口 教員就職係(7196)	随 時	・申請者は指導教員に人物 証明書等への記入を依頼 ・発行は指導教員からキャ リア支援課に提出のあった日 の翌日(土・日祝日除く)
健康診断証明書	保健管理センター (7211)	随 時	P60参照

◆授業料・寄宿料関係

種別	担当係 ()内は電話 042-329-0000	金額	提出期限	備考
授業料	経理課 収入支出係 (7143)	半期分 267,900円 1年分 535,800円	引落し時期 春学期分 4月 秋学期分 10月	・銀行口座から引落し
寄宿料		月額/大泉寮 4,300円 小平寮 4,300円 国際学生宿舍 4,700円	引落し時期 大泉寮・小平寮 3ヶ月毎 国際学生宿舍 毎月20日頃	・銀行口座から引落し
授業料返金 請求書		(本部棟2階)	秋学期分授業料 納付時期前	・春学期分及び秋学期分授業料を一括納付し、秋学期分授業料の納付時期前(9月末日まで)に休学又は退学した者については、秋学期分の授業料に相当する額を返金する
授業料免除関係	学生課 3番窓口 学生支援係 (7186)		学芸ポータルお知らせと本学Webサイトにより通知	

◆奨学金・寮・就職・保険・学生生活関係

種別	担当係 ()内は電話 042-329-0000	提出期限	備考
日本学生支援機構 奨学生異動届	学生課 3番窓口 学生支援係 (7187)	その都度 (おおむね、事由発生の) 2ヶ月前まで	・留学・休学・復学・ 退学するとき ・退学の場合は終了手 続をすること
入寮願	学生課 1番窓口 課外教育係 (7188)	入寮募集期間内	・詳細は窓口で確認す ること
退寮届		退寮する日	
①進路希望状況調査 ②就職・進学等状況に 関する調査	キャリア支援課 1番窓口 キャリア支援係 (7864)	①10月～11月 ②12月～3月 (WEBによる提出)	①3年生 ②4年生・大学院2年生 ・特別専攻科生
保険制度	学生課4番窓口(7863)	P29参照	・学生教育研究災害傷害保険 ・学研災付帯賠償責任保険
自転車登録 自動車・オートバイ特別申請	学生課3番窓口 学生支援係(7187)	随時	P21参照
学生生活に関する相談	学生相談室(7758) 学生課4番窓口(7863)		P32・33参照

◆課外活動団体関係

種 別	担 当 係 () 内は電話 042-329-0000	提 出 期 限	備 考
団体設立届	学生課 1番窓口 課外教育係 (7188)	学芸ポータルお知らせ、及び掲示により指定された期間内(年1回)	・顧問教員を決め、必要書類を添付すること
団体継続届			
集会届		2週間前	・顧問教員の承認が必要 ・学者の有無に関わらず提出すること
大会等開催届		1週間前	・集会や大会の概要がわかるもの、配布物を、添付すること
学外活動(合宿)届		1週間前	・顧問教員の承認が必要 ・活動の概要がわかるものを添付すること
物品使用願		使用の3日前	・予約の上、使用願を提出すること
合宿所使用願		2週間前	・予約の上、使用願を提出すること ・顧問教員の承認が必要
自動車臨時入構証		入構の前日	・荷物の運搬移動・合宿等、真に必要な場合に限る
バス入構届		入構の3日前	
ポスター掲示 (サークル棟前掲示板、 西4号館(西講義棟)(W4) 内掲示板)		その都度	・掲示物を持参すること ・各掲示板1枚ずつ
立て看板設置届		その都度	・立て看板を講義棟前広場に持参すること
施設使用願	以下、施設関係参照		

◆講義棟の課外活動利用(施設使用願)

種 別	担 当 係 () 内は電話 042-329-0000	提 出 期 限	備 考
教室使用許可申請書 (中央4号館(北講義棟)(C4) ※一部をのぞく 西4号館(西講義棟)(W4(110)) 中央3号館(中央講義棟)(C3(401)))	学生課 1番窓口 課外教育係 (7188)	使用予約後 なるべく早く	P40参照

◆体育施設（施設使用願）

施設名	管理責任者	担当係 ()内は電話 042-329-〇〇〇〇	提出期限	備考
大体育館	高橋	学系支援課 学系第二係 (7740) 中央4号館 (北講義棟) (C4) 1階	使用の1週間前 (出来るだけ早 めに)	使用手順 ①学系第二係から 施設使用願を 受け取る ②指導教員・顧問 教員の承認(印又 は署名)を受ける ③体育施設管理責 任者の承認(印又 は署名)を受ける ④学系第二係に 提出
小体育館	仲宗根			
剣道場	奥村			
舞踊場	久保田・奥村			
卓球場	鈴木(明)			
柔道場	久保田			
陸上競技場	佐藤(耕)			
サッカー場	新海・鈴木(秀)			
フットサルコート	鈴木(明)			
野球場	小森			
テニスコート(東門) テニスコート(北門)	高橋 新海			
ハンドボールコート	鈴木(聡)			
プール	森山			
トレーニングセンター	佐藤(耕)			
屋外バスケットボールコート	仲宗根			
屋外バレーボールコート	高橋			

◆厚生施設（施設使用願）

施設名	担当係 ()内は電話 042-329-〇〇〇〇	提出期限	備考
第1むさしのホール	学生課 5番窓口 厚生係 (7189)	使用の3日前	使用手順 ①学生課厚生係で空き状況を 確認し「第1・2むさしの ホール使用申請書」を受け 取る ②第1むさしのホール2階の 生協本部で確認印をもらう ③厚生係に「使用申請書」を 提出し、許可を受ける
第2むさしのホール			

キャンパスルール

皆さんが有意義な学生生活が送れるよう、大学にはいくつかの「ルール」が定められています。また、学生である前に一般的な社会「ルール」もあります。

これらの「ルール」は、皆さん一人一人の自覚によるところが大きく、他人に迷惑をかけることのないよう注意しましょう。

1 学生への諸連絡

試験、休講、諸手続、呼出しなど、大学からの連絡やお知らせは、「学芸ポータル」および中央1号館(C1)東側及び北側の掲示板によって行いますので、1日2回以上は目を通す習慣をつけてください。「学芸ポータル」のお知らせ、メール、掲示等を見なかったことによる不利益については、大学は一切責任を持ちません。また、他人の伝聞をあてにするのではなく、必ず自分で掲示を確認してください。休講情報については、「学生情報ポータルシステム」でも確認することができます。なお、就職情報については、中央2号館(南講義棟)(C2)2階(キャリア支援課前)にも掲示していますので見てください。

2 郵便物

サークル団体への郵便物や大学からの連絡事項は、課外活動共用施設内のメールボックスに入れておきますので、毎日必ず確認するようにしてください。なお、学生個人名あての郵便物は一切取り扱っていませんので注意してください。

3 呼び出し電話等

学内外からの学生個人に対する呼出しは、緊急やむを得ない場合を除き応じられませんので、その旨、家族等によく周知しておいてください。

「緊急やむを得ない場合の連絡先(学生課)042-329-7189」

4 住所・指名等の変更(学生記録記載事項の変更)

学生及び保証人の住所・氏名等に変更が生じた場合は、速やかに学務課へ届け出てください。

5 紛失・盗難・拾得物

学内で紛失・盗難にあったとき、落し物・忘れ物を見つけたときは、学生課（中央2号館(南講義棟)(C2)2階）へ届け出てください。届けられた物品は、学生課で保管・展示しています。なお、引き取り手の無い物は定期的に警察に移管します。

身分証明となるもの（学生証・保険証・運転免許証・パスポート等）、現金に相当するもの（キャッシュカード・通帳・クレジットカード等）を紛失した場合は、悪用を防ぐために、学生課への届出と同時に関連金融機関・カード会社、警察等に届け出てください。

盗難や置き引きが増えています。トイレ、電話などの短い時間でも貴重品から目を離さないようにしてください。

置き忘れによる盗難や置き引きが増えています。トイレ、電話などの短い時間でも貴重品、ノートPC、スマートフォン等から目を離さないようにしてください。

6 火災

火災を発見したら、①**119番通報**をしてください。その後、②無理のない範囲で消火器等による初期消火を行い、③**正門守衛所**（042-329-7138）に連絡してください。

※火災の発生を未然に防止するため、可燃物の放置や喫煙場所以外での喫煙はしないでください。

7 事故等の連絡先について

学内で次のような事故等がありましたら、至急**正門守衛所**に連絡してください。

042-329-7138

- 火災を発見したら（まずは**119番通報**）
- 不審者を発見したら
- 盗難を発見したら
- 傷病人等（車の事故等を含む）
- ガス・電気・水道等の事故



8 交通機関ストライキの際の休講措置

交通機関ストライキの際の休講（大学において通常の授業を対象とする）の取扱基準は、次のとおりです。

- JRストライキについて
 - ・スト実施当日の午前6時までにストが解除された場合は、平常通り授業を行う。
 - ・スト実施当日の午前10時までにストが解除された場合は、午後の授業は行う。
 - ・スト実施当日の午前10時までにストが解除されない場合には、全日休講とする。
- JR以外の会社線ストライキ等の影響によりやむを得ず出席できなかった学生の取扱いについては、本人からの申し出により、授業担当教員の判断によることとします。

人身事故等による不測の事態により、授業に出席できなくなった場合は各会社線の改札で発行する「遅延証明書」を持参し、授業担当教員に相談してください。

9 通学について

通学の際は、近隣の小中学生等の手本となるよう、交通ルールを守りましょう。

[自動車・オートバイ通学(電動キックボード含む)]

本学では、自動車・オートバイでの通学は、原則として禁止しています。

ただし、特別な事情のあるもの(身体障害者等)については通学を許可する場合があります。許可を受けた場合は、交通ルールを遵守し、事故に十分注意してください。(問合せは学生課3番窓口)

駐車・駐輪は学内の指定された場所で行うこととしています。学外に路上駐輪することは、その場所付近の住民や歩行者の方々等への迷惑となりますので、絶対に行わないでください。違法駐車・駐輪については法的手段をとることがあります。

なお、グラウンド門外道向かいにあるコミュニティセンター前は学生用の駐輪場ではありません。オートバイの駐輪は学内の指定場所に行ってください。

[自転車通学]

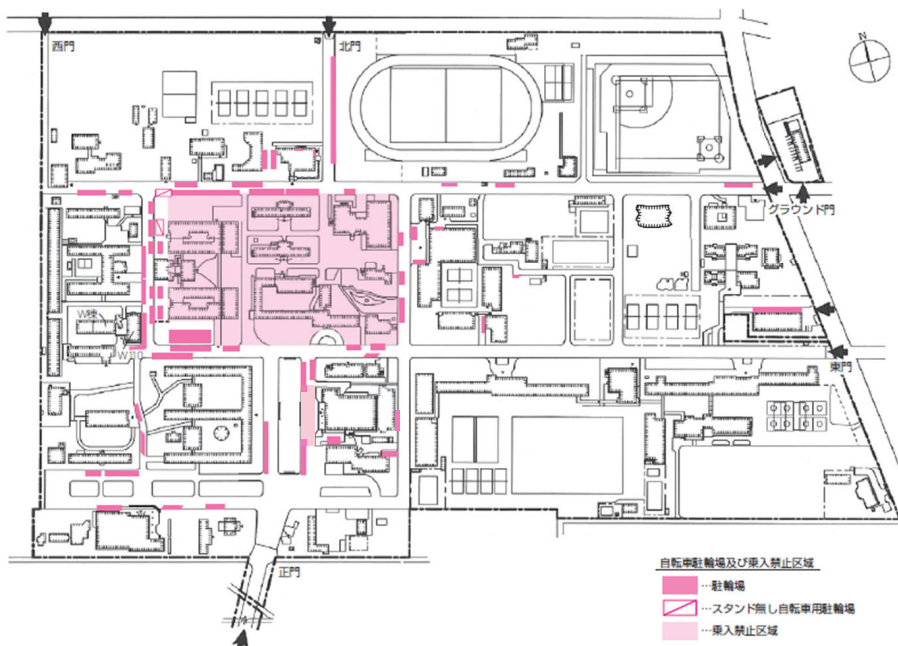
構内まで自転車で通学するすべての学生は、登録申請が必要です。登録のない自転車の構内乗り入れはできません。

自転車による通学は、交通ルールを守り、曲がり角や歩行者の脇を通るときは十分にスピードを落とすなど細心の注意を払ってください。

また、駐輪は必ず決められた駐輪場に行くこととし、乗り入れ禁止区間に進入する際は、自転車から降り、押し歩きをしてください。(建物内は、乗り入れはもちろん、自転車の持ち込みも認められません。)駐輪場、乗り入れ禁止区間については、21ページを参照してください。

※学内には、身体障害者対策として、点字ブロックやスロープ等が設置されていますので、駐車あるいは駐輪の際は、歩行等の妨げとならないよう特に注意してください。

学内自転車駐輪場及び乗入禁止区域



※スタンドのない自転車の駐輪については、所定の場所( の場所)へ駐輪してください。

—— ルールとマナーは あなたを守る ——

自転車の交通事故が増えています。原因は、交通ルールの無視とマナーの欠如です。大学の近くでも自転車と車による死亡事故がおきています。また、近隣住民の皆様から車道の右側通行やスピードの出し過ぎなどのルール違反に、大変危険であるとおしかりを頻繁に受けています。マナーを守って正しく乗りましょう。

(注意) 以下の行為は、道路交通法等で禁止されています。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ◎夜間無灯火 | ◎飲酒運転 |
| ◎二人乗り・手離し等の危険運転 | ◎信号無視 |
| ◎歩道での歩行者通行妨害 | ◎傘さし運転 |
| ◎一時不停止 | ◎携帯電話使用、イヤホン等使用運転 |

上記以外にも自転車を運転する上で知っておかなければならないルールがあります。各自道路交通法等を確認し、ルールを守って安全な運転を心がけましょう。

自転車事故を起こすと、民事上と刑事上の責任を問われます。

10 省エネルギー・光熱水費節約のお願い

本学では、環境にやさしい大学を目指しております。皆さんも無駄な電気等の節約をお願いします。

一人ひとりが身の回りの節約を心がけることで、大学全体に大きな効果をもたらします。ぜひ下記のようなことを意識してみてください。

- エアコン使用時の室温は夏季「28℃」、冬季「20℃」を目安に、健康に支障のない範囲で設定しましょう
- 教室・部屋など退室時に「電気を消しましたか？」
「モニター等の電源は切りましたか？」



「エアコンは停止しましたか？」



- 体育施設の利用終了時に
「照明は消しましたか？」



11 キャンパスクリーン作戦（資源ごみの回収と清掃美化）

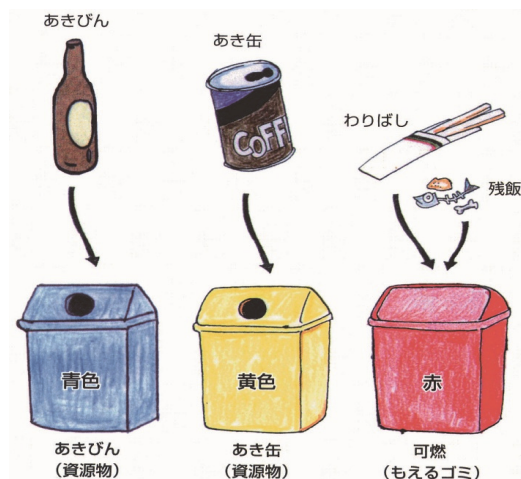
本学では、ごみの分別回収・リサイクルを実施していますのでみなさんご協力下さい。

【ゴミの捨て方の例】
弁当を食べた後

分別回収実施中

※あきビン、あき缶、可燃、不燃、ペットボトルは指定のごみ箱。ミックスペーパーは青色のかご。
また、紙ごみも、リサイクルできますので、ミックスペーパーボックスに捨ててください。
弁当容器については、材質(可燃・不燃)によって分別して下さい。

たとえば弁当を食べたらこのように分けて捨ててください



◆学内各門の開閉時間表

各門の開閉時間は下表のとおりです。(緊急時や特別な行事がある場合は変更することがあります。)

		平日・土曜		日曜・休日	
		開門時間	閉門時間	開門時間	閉門時間
正門	大扉	6:00(半開) 7:00(全開) ※授業期間中8:00~ 9:00は自動車 オートバイ通行禁止	24:00	7:00(解錠のみ) ※利用者が開閉する。	24:00
	通用門	(常時開門)		(常時開門)	
東門 〔歩行者・自転車 のみ通行可〕	大扉	7:00	20:00	(常時閉門)	
	通用門	20:00	23:00		
北門	大扉	7:00(半開) 7:30(全開) ※7:00~7:30は 歩行者・自転車のみ 通行可	20:00(半閉) 23:00(全閉) ※20:00~23:00は 歩行者・自転車のみ 通行可	(常時閉門)	
グラウンド門 〔歩行者・自転車 のみ通行可〕	大扉	7:00	23:00	7:00	21:30
西門 〔歩行者・自転車 ・オートバイのみ 通行可〕	大扉	7:00	23:00	(常時閉門)	
北側通用門 〔歩行者のみ通行可〕	通用門	7:00	23:00	7:00	23:00
東7号館(E7)	大扉	7:00	20:00	(常時閉門)	

4

学生生活

1 授業料免除等

令和2年度から、高等教育の修学支援新制度により、学部学生（私費外国人留学生を除く）への授業料免除の仕組みが大きく変わりました。高等教育の修学支援新制度は、日本学生支援機構の給付奨学生に申請し採用された学生に対して、日本学生支援機構から奨学金の給付、大学から学費の減免が行われます。給付奨学生は、生計維持者の所得による採用区分に応じて給付奨学金及び授業料減免の金額が決まります。令和7年度より、生計維持者が扶養する子等の数が3人以上の多子世帯の学生は、生計維持者の所得によらず入学金及び授業料が免除されます。

授業料は、毎学年・毎学期・以下の期限までに納付することとなっています。

春学期（4月～9月）分	4月末	秋学期（10月～3月）分	10月末
-------------	-----	--------------	------

なお、授業料の納付が困難な学生に対し、対象の学生が必要書類をそろえて所定の期日までに願い出ることにより、以下の経済的支援を実施しています。

対 象	支 援 内 容
学部学生 (私費外国人留学生を除く)	・授業料免除(日本学生支援機構の給付奨学生に採用されることが条件) ・授業料徴収猶予
学部の私費外国人留学生 大学院生 特別専攻科生	・授業料免除 ・授業料徴収猶予

授業料免除・徴収猶予等の申請手続案内は、本学Webサイトでお知らせします。

授業料免除・徴収猶予等を希望する場合は、本学Webサイトにアクセスし、申請用紙等をダウンロード・プリントアウトして申請してください。

東京学芸大学ホームページ>学生生活・キャリア支援>入学金・授業料の免除・徴収猶予制度
《 <https://www.u-gakugei.ac.jp/tuition-exemption/> 》

※受付期間中以外は、申請を受け付けないので十分注意してください。

また、地震・風水害等により被害を受けた際は、授業料免除を実施できる場合もあるので、中央2号館(南講義棟)(C2)2階学生課3番窓口（学生支援係）TEL 042-329-7186までお問い合わせください。

2 奨学金制度

経済的な理由等により修学困難な学生は、奨学金制度を活用してください。

【日本学生支援機構奨学金】

日本学生支援機構奨学金は、貸与・給付を希望する学生のうち、人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難で、選考基準(学力・家計)に合っている学生の中から、選考のうえ、貸与・給付されるものです。

申請書類の配布時期、受付期間等については、大学Webサイトにてお知らせします。

東京学芸大学ホームページ>学生生活・キャリア支援>奨学金制度
《 <https://www.u-gakugei.ac.jp/scholarship/> 》

- ◆採用者は、期限内に必ず採用手続をしてください。採用手続を期限内に行わない場合、振り込まれた奨学金を全額返戻の上、採用を取消します。
- ◆奨学金受給中は、毎年、継続のための手続が必要です。12月中旬に案内しますので、定められた期日までに手続して下さい。
- ◆大学院第一種奨学金の貸与を受けた学生で、在学中に特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構が認定した場合に、貸与期限終了時に奨学金の全部または一部が返還免除される制度があります。業績は、在籍している課程の第一種奨学金貸与開始時から貸与終了時までが評価対象になります。貸与の終了する年度に申請をし、本学選考委員会の審議により推薦者を決定します。
- ◆家計支持者の失職、解雇、倒産、病気、離別、死亡等による家計急変のため、緊急に奨学金の貸与・給付を希望する学生は、学生課3番窓口(学生支援係)まで来てください。
- ◆すでに他の大学で日本学生支援機構の奨学金を受けたことのある人、および外国籍の人等は申し込むことができない場合があります。

【東京学芸大学学生奨学金「学芸むさしの奨学金」】

本学独自の給付型の奨学金です。授業料免除申請が不許可となった者または国の高等教育の修学支援制度による支援を受けられない者を対象に選考を行う「学資支援奨学金」と家計急変等が生じたときに随時応募できる「緊急支援奨学金」の2種類があります。詳細は、学生課3番窓口(学生支援係)にお問い合わせください。

【その他の奨学金】

主に4月、5月に各地方公共団体または財団法人等から募集があります。その都度Webサイト(<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~syougaku/bosyuhtml>)に掲示しますが、都道府県市区町村の教育委員会で直接取り扱っているケースも多いので、学生本人の出身地の教育委員会に問い合わせてみると良いでしょう。

- ◆本学に募集のあった奨学団体の一部を次に紹介します。

博報堂教育財団/G-7奨学財団/キーエンス財団/北野生涯教育振興会/磯野育英奨学会/あしなが育英会/アイザワ記念育英財団/守谷育英会/エフテック奨学財団/アドヴァン山形育英会/花まる・伸生育英財団/大学女性協会

本学では、学生の皆さんが教育研究活動中に不慮の事故によって被った災害等での、学生や保護者等の経済的負担を救済することにより安心して学校生活が送れるように、(公財)日本国際教育支援協会が取り扱う「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」への加入をお願いします。

【学生教育研究災害傷害保険（通学中等傷害危険担保特約を含む。）】

国内外における教育研究活動（授業、学校行事、課外活動及び通学等）中に、不慮の事故によって身体に被った傷害に対する補償制度です。

- ◆加入受付 入学時全員加入
- ◆保険期間 最短在籍期間（4年以内）
- ◆事故の通知等 事故が発生した時は、速やかに「事故の日時・場所・事故の状況・傷害の程度等」を学生課4番窓口へ連絡して、指定書類（事故通知はがき）に必要事項を記入の上提出してください。
- ◆保険金の請求 ケガが治癒した後、学生課4番窓口で指定書類（保険金請求書等）に必要事項を記入の上提出してください。
なお、保険金の支払いは、保険会社から直接本人が指定した口座へ振り込まれます。

【学研災付帯賠償責任保険】

国内外において、教育研究活動（授業、学校行事、大学の手続により承認を受けたインターンシップ活動又はボランティア活動及びその往復）中に、誤って相手にケガをさせたり、他人や施設等の器物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償に対する補償制度です。

なお、本学では、学研災付帯賠償責任保険への加入については、授業中等の補償も含まれたAコースの加入のみとなっています。

- ◆加入資格 「学生教育研究災害傷害保険」に加入していること
 - ◆加入受付 入学時全員加入
 - ◆保険期間 最短在籍期間（4年以内）
 - ◆事故の通知等 事故が発生したときは、本人が、下記の連絡先へ、下記の内容を電話で連絡してください。
連絡先：東京海上日動学校保険コーナ－
0120-868-066（フリーダイヤル）
- | | |
|---------------|----------------|
| ①自分の氏名・年齢・大学名 | ④被害者の氏名・年齢 |
| ②事故発生日・時刻 | ⑤事故の原因 |
| ③事故の発生場所 | ⑥被害（傷害、損壊等）の程度 |
- ◆保険金の請求 学生は、前記「事故の通知等」の内容を保険会社に連絡した後、学生課4番窓口で、指定書類（保険金請求書）に必要事項を記入のうえ提出してください。
なお、保険金の支払いは、保険会社から直接本人が指定した口座へ振り込まれます。

※その他、詳細については、加入者のしおりを参照して、不明な点については、学生課4番窓口 TEL 042-329-7863 にお問い合わせください。

4 学寮・国際学生宿舎

学生の生活と勉学を支援することを主な目的として、学生寮を設置しています。
寮生は、学寮規程または国際学生宿舎規程に加え、寮生自治会の定めた規則を守ってください。
空室状況に応じて入寮の募集を行うことがあります。希望する学生は、学生課1番窓口（課外教育係）まで相談に来てください。

◆入寮等

- 入寮希望者は、大学が定める入寮選考を経て、必ず学長の入寮許可を得なければなりません。
- 学寮の退寮は、管理人に申出るとともに大泉寮は会計部長、小平寮は寮長に申出てください。退寮願・退寮届は、管理人に確認印を受けてから学生課1番窓口（課外教育係）に提出し、また、寄宿料及び光熱水料等の経費の未納分がないようにしなければなりません。
- 学寮規程第14条及び国際学生宿舎規程第14条に該当する場合は、退寮・退去を命ずることがあります。
- 通学者または学資負担者に風水害・火災等の特別な事情が起きたときは、臨時的に学寮への入寮が認められる場合がありますので、相談してください。

◆寄宿料

- 寄宿料は、各々の銀行口座から引き落とされますので、期日までに残高の確認をし、引き落とし不能とならないようにしなければなりません。
- 寮生または学資負担者が風水害・火災等の災害を受け、納付が著しく困難な場合は、寄宿料の免除が認められる場合がありますので、申し出てください。

◆その他

- 寮生以外の者が宿泊、集会のために学寮施設を利用することは認められません。
- 寮内外の快適な環境保全に努め、建物・備品の保全や火災予防及び衛生に留意し、騒音等についても十分自粛してください。
- 寮生活に係る諸経費については、各寮において定めています。

学寮の概要

寮名	所在地・電話	性別	入寮人員	寄宿料	居室様式・建築年数	通学方法・所用時間
小平寮	〒187-0011 小平市鈴木町1-102 TEL 042-323-6978	女子	160名	月額 4,300円	鉄筋5階建 個室(約6畳) 昭和55年度	バス 15分 自転車 10分
大泉寮	〒178-0063 練馬区東大泉5-22-1 TEL 03-3922-0623	男子	130名	月額 4,300円	鉄筋4階建 個室(約6畳) 昭和52年度	バス又は電車 70分 自転車 50分

国際学生宿舎の概要

宿舎名	所在地・電話	性別	入居人員	寄宿料	居室様式・建築年数	通学方法・所用時間
東久留米 国際学生宿舎	〒203-0004 東久留米市氷川台1-22-2 TEL 042-471-6977	男子 女子	38名 72名	月額 4,700円	鉄筋3階建 個室(約7畳) 平成8年度	バス又は電車 60分 自転車 50分

5 学生旅客運賃割引証（学割証）

帰省、見学、実習、課外活動及び就職試験等の目的で交通機関を利用して旅行するときは、学割証の交付を受けて使用することができます。

この学割制度は、学生個人の自由な権利として使用することを前提としたものではなく、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的として実施されている制度です。次の事項に十分注意して取扱ってください。

また、この制度はJR各社を前提としたものであり、他の交通機関については各自確認の上使用してください。

◆使用方法

- ①乗車区間の片道の営業キロ100km以上を超えて旅行する場合に使用できます。
- ②使用にあたっては、学割証裏面の使用上の注意をよく読んで使用してください。

◆発行手続

学割証は中央2号館（南講義棟）(C2)1階に設置してある証明書自動発行機で発行できます。発行機の操作により即日発行されますが、学生情報の更新などで発行機を停止する期間もあるので注意してください。なお、一度発行した学割証は返却できないので、必要最低限の枚数をとるようしてください。往復切符を購入する場合、学割証は1枚で済みます。

◆注意事項

- ①学割証の有効期限は、発行日から3か月です。使用する前に必ず有効期限を確認してください。
- ②学割証を不正に使用した場合は、普通乗車券の3倍に相当する額を追徴されるばかりではなく、場合によっては全学生に対する発行停止の措置を取られることもあります。不正な行為は絶対にしないでください。

6 通学定期券

通学定期券の購入は、現住所の最寄り駅から大学の最寄り駅までの最短区間に限ります。通学以外の目的で購入することはできません。

購入方法：通学証明書を自動発行機にて発行し駅窓口へ持参してください。ただし、発行日の前日22時までに事前に学生情報トータルシステムへ通学区間等の情報を入力しておくことが必要です。

転居等により通学区間が変更になった場合はすみやかに学生情報トータルシステムにて変更手続をしてください。手続をしないままだと新しい通学区間での通学定期が購入できませんので注意してください。

7 ボランティア活動

ボランティア活動を特別なものと考えず「いつでもどこでも誰にでも」をモットーに、自分なりのボランティア活動を通じて、自己を確立すると同時に助け合うことを学んでください。

学生のボランティアに関する情報は、キャリア支援課入口手前左側、および「学生キャリア支援室ホームページ」にて提供していますのでご活用ください。小・中学校での学習支援・特別支援や学校行事等のボランティアの他、高齢者向け施設でのボランティア、海外の子ども達への支援など、多様な活動の情報が 있습니다。

◆ボランティア決定届を速やかに提出しましょう。

ボランティア活動が決定したら、速やかにボランティア決定届(教育支援が一般のいずれか)をデータにて指定のメールアドレス(shushoku@u-gakugei.ac.jp)宛に送信しましょう。これはボランティア活動中に起こった損害の賠償責任保険(学研災付帯賠償責任保険)を受けるために必要な手続きです。必ず提出しましょう。

8 学生相談について

学生生活の手引・各種パンフレット・学芸ポータルや大学ホームページの情報から、わからないことを自分で調べることも大事ですが、「どこに相談したらいいのかな」と迷ったら、学生相談担当窓口にご相談してください。

学生相談担当窓口：学生課(中央2号館(南講義棟)(C2)2階学生課4番窓口)
Tel 042-329-7863

また、「ちょっと相談してみようかな」と思ったら、相談内容に応じた下記の担当部署にお気軽に相談してください。

◆相談内容と担当部署

学生生活相談：学生課(中央2号館(南講義棟)(C2)2階)

学生相談室(中央6号館(C6)1階)

就職・進路相談：キャリア支援課(中央2号館(南講義棟)(C2)2階) <47ページ参照>

心と身体相談：保健管理センター<59ページ参照>

修学相談：学務課(中央2号館(南講義棟)(C2)1階)

修学支援相談：障がい学生支援室(中央6号館(C6)1階)

留学生固有の相談：国際課(中央2号館(南講義棟)(C2)3階)

人権相談：キャンパスライフ委員会(中央2号館(南講義棟)(C2)2階学生課4番窓口)

人権侵害(ハラスメントなど)と思われる行為に悩んでいたら、キャンパスライフ相談員にご相談ください。キャンパスライフ相談員と連絡方法については、大学ホームページのキャンパスライフ委員会ホームページ及び学内に設置してあるリーフレット「相談できます」をご覧ください。また、キャンパスライフガイドラインは大学ホームページ上で見るすることができます。

学生相談室では、皆さんが学生生活上の学業・生活・進路・経済面などで困っていること、悩んでいること等の相談に応じています。本学の学生であれば、どなたでも利用できます。お友達と一緒に構いません。

「大変な悩みでないと相談できないのでは？」

「相談すると変な風に思われるのでは？」

といった心配は無用です。お気軽にお越しください。長く抱えている悩みに対してじっくり相談したいという方の相談も可能です。

相談内容及び相談者のプライバシーに関しては、一切外部には漏れません。（守秘義務）

相談例として…

- | | |
|------------------------|------------------|
| * 将来どういった方向に進むか迷っている | * 進路変更したいと思っている |
| * 友達とうまくいかない | * 授業のことで悩んでいる |
| * 先生とうまくコミュニケーションがとれない | * 恋人や家族のことで悩んでいる |
| * 将来の方向性や就職活動で困っている | * 性格のことを考えたい |
| * アルバイトのことで心配な事がある | * サークル活動のこと |
| * 生活スタイルを見直したい | * 大学に行きたくない その他 |

保健管理センターとの連携も可能です。

また、相談内容により他の医療機関、相談機関を紹介します。

相談員（臨床心理士）

カウンセラー：青山 萌（あおやま も え）
 河原 智子（かわはら ともこ）
 後藤かおる（ごとう かおる）
 諏訪 智子（す わ ともこ）
 三浦 真弓（みうら まゆみ）
 村部 妙美（むらべ たえみ）

場 所

中央6号館(C6)1階

時計塔のある建物の1階、
 東側生協に通じる道沿いに
 入口があります。

開室日時 毎週月～金曜日（祝日等は除く）10：00～17：00（昼休み13：00～14：00）

※休業期間（授業が行われない期間）中は、変更になる場合があります。

変更後の開室日時は、学芸ポータル又は学生相談室入口の掲示でご確認ください。



相談の申込

学生相談室利用の際は、予約することをおすすめします。次のいずれかの方法で予約できます。なお、予約なしでも、相談員の予定があえば相談は可能です。

- 直通電話をかける TEL.042-329-7758
- メールを送る メールアドレス gsodan@u-gakugei.ac.jp
- 直接来室する
 （受付担当者が対応します。）

※わからなかったり、不安がある場合は、学生課に声をかけてください。

10 障がい学生支援室

障がい学生支援室では、修学や学生生活において支援の必要性がある学生の相談を受け、個々の困難さに応じた支援を行っています。障がいのある学生が、合理的配慮のもと、必要な情報にアクセスしたり活動に参加したりできるようサポートしていきます。

また、肢体不自由学生の移動支援や聴覚障害学生等のノートテイク（PCテイク）などを担当する学生サポーターの育成も行っています。

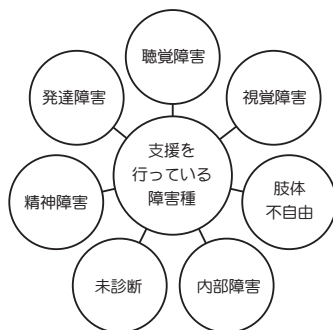
◆支援までの流れ

- ①相談申し込み・・・下記のアドレス宛にメールでお申し込みください。
- ②面談・・・支援室所属の教員がお話を伺います。
- ③個別支援チームの設置・・・支援室教員のほか、指導教員、学務課職員、学生課職員など関係者による支援チームを立ち上げ、修学をサポートします。（任意）
- ④建設的対話・・・関係者や関係部署と連携をとり、支援や配慮の内容を検討します。
- ⑤配慮願いの申請・・・授業時や実習時に必要となる配慮を指定の書式にまとめ、関係者に提出します。

依頼や相談を受けて、以下のような支援を行っています。

- * 障害特性に応じた履修相談
- * 授業内容の情報保障としてのノートテイク（PCテイク）
- * 映像教材の字幕文字起こし
- * 学外授業等における手話通訳者の派遣
- * 講義棟間の移動を円滑にするための移動支援
- * 授業内の座席配置の配慮
- * 時間管理スキルに関わる相談・指導
- * ソーシャルスキルに関わる相談・指導
- * 自己理解に関わる相談・指導
- * グループワークにおける配慮

など



場 所 : 中央6号館(C6)1階
電 話 : 042-329-7905
e-mail : gsupport@u-gakugei.ac.jp
開室時間 : 9:00~16:00 (事務在室時間)
※授業期間外は変更になることがあります。

11 キャンパスメンバーズについて

キャンパスメンバーズとは、大学、短期大学、専修学校を対象とした会員制度で、本学は以下の4つに入会しています。特典としては、常設展無料・特別展割引等があります。この特典を利用して、美術・科学に親しみ、文化財ひいては日本文化に対する理解の促進を図っていただきたいと思えます。奮ってご観覧ください。

1. 国立美術館キャンパスメンバーズ

(東京国立近代美術館・京都国立近代美術館・国立映画アーカイブ・国立西洋美術館・国立国際美術館・国立新美術館・国立工芸館)

本学学生は、国立美術館の窓口で学生証を提示することにより、常設展を無料、企画展を割引料金で観覧できます。各館の詳細はホームページでご確認ください。

国立美術館キャンパスメンバーズHP <https://www.campusmembers.jp>

2. 東京国立美術館キャンパスメンバーズ

本学学生は、東京国立博物館の窓口で学生証を提示することにより、総合文化展を無料で観覧できます。特別展についても、会員校の学生を対象とした割引料金が設定される場合があります。※割引料金設定の有無は各特別展ホームページでご確認ください。

国立博物館HP <https://www.tnm.jp>

3. 国立科学博物館大学パートナーシップ

本学学生は、国立科学博物館の窓口で学生証を提示することにより、常設展・企画展を無料で観覧できます。特別展は、特別展入場料(一般・大学生)から常設展示入館料630円(税込)を引いた金額でご覧いただけます(割引券との併用不可)。また、学生証提示により附属自然教育園、筑波実験植物園に無料で入園できます。

国立科学博物館HP <https://www.kahaku.go.jp>

4. 国立劇場キャンパスメンバーズ

本学学生は、歌舞伎・文楽のチケットを割引で購入できます。対象となる公演は国立劇場ホームページやポスターをご覧ください。チケットはインターネット販売で一般発売日以降に購入できます。東京学芸大学の会員ID、パスワードが必要となりますので、学務課総務係(gakumuka@u-gakugei.ac.jp)までメールにてご連絡ください。



国立劇場HP https://www.ntj.jac.go.jp/kokuritsu/campus_members.html

★学内掲示板 中央1号館(旧自然科学系研究棟1号館)東側・中央4号館(北講義棟)1階にポスターを掲示ご案内しますので、そちらもご覧ください。

学生ラウンジ

学生ラウンジは、学生の福利厚生者の充実を図る場として整備されました。

◆第1学生ラウンジ（第2むさしのホール2階）

利用時間：（授業期間中）9時～20時（授業休業期間中）10時～16時

◆第2学生ラウンジ（コミュニティセンター内（巻末キャンパスマップ参照））

利用時間：土曜・日曜・祝日を除いた平日9時～20時

入口は、テンキー方式になっています。番号は学芸ポータルに掲載します（番号は毎月変更になります）。

また、無線LANによりインターネットの使用ができます。

コミュニティセンター

コミュニティセンターは、学生及び教職員の福利厚生者の充実を図るとともに、周辺地域との連携を推進することを目的として整備されました。

交流スペースとして、コミュニティホール・第2学生ラウンジと、民間業者が運営するコンビニエンスストアを設置しています。

◆コミュニティホール

学生及び地域住民による作品の展示会、ゼミのパネル展、地域住民との交流・行事等に使用します。事前に申し込みが必要です。

第1むさしのホール・第2むさしのホール

本学には学生及び教職員の福利厚生施設として「第1むさしのホール」及び「第2むさしのホール」があり、学生の学習、研究等の場として利用されているほか、東京学芸大学生生活協同組合の運営による食堂・売店等が設けられています。また、第1むさしのホールに現金自動預払機（ゆうちょ銀行）を設置しています。

図書館カフェ「notecafe」（図書館1階入口横）

図書館の1階にあるおしゃれなカフェです。大学と地域の人が交流するためのノートが置いてあり、壁に巨大な地域の地図もかかっています。本格的なコーヒーや焼きたてのパン等をお楽しみいただける、くつろぎの空間です。また、コーヒー豆の販売も行っております。

東京学芸大学生協

本学の福利厚生施設「第1むさしのホール」及び「第2むさしのホール」内に食堂や売店等が配置されており、東京学芸大学生生活協同組合（生協）が運営しています。この生活協同組合（生協）は、消費生活協同組合法による法人であり、本学の学生・教職員を組合員とする協同互助の精神に基づいて、組合員の生活の文化的経済的向上を図ることを目的とし、事業を行っています。

売店（購買書籍部）

1階では食品を中心としたコンビニ店舗を運営しています。

学生に人気の焼きたてパンや食堂手作りのあたたかいお弁当を取り扱っています。また飲料、お菓子類、アイス等もあります。その他、学芸大オリジナルグッズや雑貨等も取り揃えています。

2階では書籍や文具、カウンター受付業務を運営しています。

新学期には特設コーナーにて教科書販売を行います。カウンターでは、各種商品お取り寄せ、パソコンサポート、修理受付、運転免許や旅行の受付を行っています。

食堂

第1むさしのホールでは第1食堂（通称：大生）を運営しています。

自分でおかずが選べるカフェテリアのほか、丼、カレー、ラーメン、そば、うどん、など多くのメニューを取り揃えています。

第2むさしのホールでは第2食堂（通称：コパン）を運営しています。

日替わり定食メニューを取り扱っています。

アルバイトの紹介

家庭教師を含むアルバイトの紹介を、東京学芸大学生生活協同組合（生協）で行っています。

求人票は、第1むさしのホール1階の掲示板に掲示しています。求人票を見て各自で相手先と連絡をとり、面接等を受けてください。雇用契約をする時は労働条件・環境をしっかりと確認しましょう。

また、求人票の受付は、生協本部事務室（第1むさしのホール2階）で行なっています。

下宿・アパートの紹介

下宿・アパートの紹介を、東京学芸大学生生活協同組合（生協）で行っています。

通常期の物件の閲覧や紹介は、生協HPと第1むさしのホール1階（毎週金曜日）で、3月は特設コーナーで行います。

生協が提携する不動産会社でご契約されると、仲介手数料の割引等のサービスが受けられます。

生協提携の不動産会社を希望する場合は、生協発行の「紹介状」をご持参ください。「紹介状」は生協ホームページからダウンロードするか、生協本部窓口にて発行します。

◆むさしのホール施設店舗紹介（通常期）

施設名	店舗名	主な事業内容	営業時間 月～金	連絡先
第1 むさしの ホール	1F 第1食堂	カフェテリア, 丼, カレー, 麺類,	11:00～13:30	042-322-0783
	1F 購買部 (食品)	焼きたてパン, おにぎり, お弁当, 飲料, デザート, 菓子, 嗜好品, 雑貨, 学芸大オリジナルグッズ	月・火・木・金 10:00～18:30 水のみ 10:00～17:00	042-324-6226
	1F 住まい探し	住まい物件閲覧 (毎週金曜日に不動産会社の相談会 あり)	購買部1階と同じ	042-324-6225
	1F コピー コーナー	10円コピー, 0円コピー(タダコピ)	購買部1階と同じ	042-324-6226
	2F 購買書籍部	教科書, 専門書, 一般書, 雑誌, 各種検定 パソコン, 周辺機器, 文具, 製本, 切手, ハガキ, 卒業袴レンタル, 運転免許, レンタカー, 国内・海外旅行, ゼミ・サークル合宿, 資格取得のための専門学校, パソコン サポート	10:00～17:00	042-324-6226
	2F 本部	生協加入, 脱退, 共済加入, 給付申請, 住まい紹介, 生協アプリ	10:00～17:00	042-324-6225
第2 むさしの ホール	1F 第2食堂 (コパン)	セットメニュー	11:45～13:00	042-324-8046
	2F 第2食堂 (コパン)	(座席のみ)	11:45～13:00	042-324-8046



※夏休み等長期休暇期間中は営業時間が変更になります。
※営業時間の詳細は生協ホームページへ

5

課外活動



1 課外活動の諸手続

◆課外活動団体の設立及び継続

団体の設立及び継続を行う場合は、顧問教員を定め、「団体設立・継続届」を学生課1番窓口（課外教育係）に提出し、学長の承認を受けてください。承認されていない団体は、学内施設の使用、掲示、催物の開催などが制限される場合があります。

- ・団体設立届（指定された期間内）
- ・団体継続届（ “ ” ）

◆課外活動用物品の貸与

学生及び学生団体が、課外活動等のため物品を使用したいときは、学生課1番窓口（課外教育係）へ申し込んでください。（予約の上、物品使用願を提出すること）

◆施設の使用

学生団体が、本学の施設を使用したいときは、施設を管理する事務係等に届け出て、管理責任者の許可を得ることとなっています。

■講義棟の使用（公認課外活動団体に限る）

担 当 係	学生課 1 番窓口（課外教育係） Tel. 042-329-7188
予 約	教室使用希望一覧表に予約の希望を記入する。 毎月20日前後（掲示で周知）に開催される教室予約会議で、翌月分の予約が確定する。
使用時間	平日/18:00～22:00（但し、水曜日は15:00～22:00） 土・日・祝祭日・授業のない休業期間/9:00～20:00
鍵受渡し・ 鍵返却	平日/8:45～16:45までは学生課で行う。（授業期間外の12:00～13:00は貸出不可。） 平日/6:00～8:00、17:15以後及び土・日・祝祭日/6:00～24:00は正門守衛所で行う。 ※平日8:00～8:45/16:45～17:15は鍵の引き継ぎ準備のため、鍵の受け渡しは原則行えません。
諸 注 意	無断使用、飲食、飲酒は禁止。 キャンセルする場合は速やかに届け出ること。 鍵の管理は十分注意し、使用後は施錠のうえ必ずその日のうちに返却のこと。

■サークル棟（課外活動共用施設）の使用

担 当 係	学生課 1 番窓口（課外教育係） Tel. 042-329-7188
使用時間	6:00～22:00 入試等で入構が禁止されている日は使用しないこと。
諸 注 意	<ul style="list-style-type: none"> ・課外活動共用施設規程及び使用心得を遵守すること。 ・退室時には必ず、暖房器具、照明等の消し忘れ及び、各部屋の施錠に特に注意し、火災予防、盗難予防に努めること。

■体育施設の使用

担 当 係	学系支援課 学系第二係 Tel. 042-329-7740 中央 4 号館(北講義棟) 1 階			
管理責任者	大体育館	高橋	野 球 場	小森
	小体育館	仲宗根	テニスコート(東門) テニスコート(北門)	高橋 新海
	剣道場	奥村	ハンドボールコート	鈴木(聡)
	舞踊場	久保田・奥村	プール	森山
	卓球場	鈴木(明)	トレーニングセンター	佐藤(耕)
	柔道場	久保田	屋外バスケットボールコート	仲宗根
	陸上競技場	佐藤(耕)	屋外バレーボールコート	高橋
	サッカー場	新海・鈴木(秀)	フットサルコート	鈴木(明)
諸 手 続 き	使用 1 週間前までに以下の手続きを行うこと。 ①学系第二係から施設使用願を受け取る。 ②指導教員・顧問教員の承認(印又は署名)を受ける。 ③体育施設管理責任者の承認(印又は署名)を受ける。 ④学系第二係に提出。			
諸 注 意	年間使用計画については、体育施設運営委員会で調整する。			

◆テニスコートの夜間使用

テニスコートの使用については、上記のとおりですが、夜間照明設備の使用については、学生課 1 番窓口(課外教育係)に問い合わせてください。

◆集会

学内で集会等を開催するときは、開催の 2 週間前までに集会届を学生課 1 番窓口(課外教育係)へ提出して承認を受けてください。集会に使用する施設や器具の取扱い、音量等に十分注意してください。

・集会届	2 週間前までに提出
------	------------

◆学内諸活動(署名運動等)

学内で世論調査、署名運動、募金などの活動等を行うときは、学生課 1 番窓口(課外教育係)に届け出て、承認を受けてから行ってください。

これらの活動が金銭上の収支を伴う場合は、事前に予算書を、事後に決算書を提出してください。

また、学内での物品及び食品の販売は原則禁止となります。

◆ 掲示物

・ポスターの掲示

掲示物を持参して、学生課1番窓口（課外教育係）で許可を受けてください。

掲示場所	サークル棟前掲示板 西4号館(西講義棟)(W4)内掲示板
掲示枚数	各掲示板1枚ずつ
掲示期間	原則2週間以内

・立て看板の設置

立て看板を講義棟前広場に持参した上で、学生課1番窓口（課外教育係）に立て看板設置届を提出し、許可を受けてください。設置場所に制限がありますので注意してください。

なお、設置期間は原則として2週間以内です。風で倒れたりしないよう確実に設置してください。また期間終了後は速やかに各団体が責任を持って片付けるようにしてください。

◆ 学外活動・大会開催

学生及び学生団体が学外で合宿や遠征等を行うとき(学外活動(合宿)届)、並びに本学の施設を使用して大会及び練習試合等を開催するとき(大会等開催届)は、必ず学生課1番窓口（課外教育係）に届け出てください。これらの届出がない場合、事故等による学生教育研究災害傷害保険の申請手続きが出来ないことがあります。

・学外活動(合宿)届	1週間前までに提出
・大会等開催届	

2 課外活動団体

本学には別表のとおり、文化系：70団体、体育系：61団体、その他：4団体の課外活動団体があり、公認を受けています。(令和7年12月末現在)

◆文化系団体

1	アカベラサークルInfini	36	総合史学研究会
2	ウインドアンサンブル	37	TRPGサークル卓上劇団ひゅぽのしす
3	音楽友之会	38	鉄道研究部
4	軽音楽部JAZZ研	39	民俗学研究会
5	東京学芸大学管弦楽団	40	スイーツ同好会
6	東京学芸大学クラシックギタークラブ	41	TGUポケモンサークル
7	東京学芸大学混声合唱団	42	総合文藝サークル「拙作」
8	フォークソング愛好会	43	盤上遊戯研究会(東京学芸大学麻雀部)
9	邦楽サークル 白菊会	44	お散歩サークル みつあみ
10	モダンフォークソングクラブ	45	東京学芸大学キリスト者学生会
11	ラテンアメリカ研究会	46	理科教育系サークル Aggressive!!
12	東京学芸大学 和太鼓サークル結	47	東京学芸大学かるた会
13	演鑑演劇部	48	学童サークル cococolors
14	演劇研究部 劇団漢	49	Pages
15	the@ter メトロ	50	STEAMer
16	劇団なきがお	51	東京学芸大学アマチュア無線クラブ
17	絵本創作サークル きつねのしっぽ	52	学芸大クイズ同好会 NIWAKA
18	写真研究部	53	囲碁研究会
19	美術研究部	54	TGUアイドル研究会 Gakum@s
20	放送研究会	55	英語教育実践サークル EGG
21	漫画研究部	56	留学・国際交流サークル
22	創作視聴覚文化研究部	57	東京学芸大学eスポーツサークル
23	デジタル創作系サークル SSET	58	家庭科バンドHOUSE
24	北多摩東BBS会	59	トルコアイス研究会
25	国分寺子どもクラブ	60	おにぎりサークル ころりん
26	子ども学習支援サークル 小金井でらこや	61	東京学芸大学E.S.S.
27	サークルちえのわ	62	カーレットクラブ
28	障害児と楽しく遊び会 おこりんぼ	63	東京学芸大学映画研究会
29	小学校ボランティアサークル Let's	64	東京学芸大学博物館周遊会
30	地域子ども会活動サークル むぎのこ	65	清掃ボランティア団体ハピクリ
31	茶道部	66	こすぶり
32	東京学芸大学お笑いサークル GOC	67	せんせいのたまご
33	東京学芸大学ジャグリングサークル CHELSEA	68	劇団うめおにぎり
34	書道サークル審美会	69	ぼくらのおうち
35	星空サークルシリウス	70	起業部

◆その他の団体

1	小金井祭実行委員会
2	生協学生委員会
3	東京学芸大学生生協留学生委員会
4	生協読書マラソン委員会

◆体育系団体

1	陸上競技部(男子)	32	ラグビーフットボール部
2	陸上競技部(女子)	33	アメリカンフットボール部 SNAILS
3	陸上同好会	34	アイスホッケー部
4	男子水泳部	35	男子ラクロス部
5	女子水泳部	36	女子ラクロス部
6	東京学芸大学硬式野球部	37	バドミントン部
7	軟式野球部	38	バドミントンサークル LIBERTE
8	軟式野球サークル Vinvins	39	卓球部
9	男子ソフトボール部	40	体操競技部
10	女子ソフトボール部	41	体操&アクロバットサークル
11	男子硬式庭球部	42	柔道部
12	女子硬式庭球部	43	剣道部
13	ソフトテニス部	44	東京学芸大学空手道部空心会
14	硬式テニスサークル elf	45	弓道部
15	硬式テニスサークル「Double Fault」	46	少林寺拳法部
16	T-CRUISE	47	ストリートダンスサークル @fterbeer
17	Wonderland	48	東京学芸大学アルティメットフリスビーサークル BIG APPLE
18	男子バスケットボール部	49	男子一般運動サークルG.S.C.
19	女子バスケットボール部	50	女子一般運動サークルG.S.C.
20	REGULLUS	51	レクリエーションスポーツクラブ
21	S.B.C	52	ワンダーフォーゲル部
22	男子バレーボール部	53	スキューバダイビングサークル NEPTUNE
23	女子バレーボール部	54	チアリーダー部 Hydrangea
24	バレーボールサークル BRAVO!	55	東京学芸大学熱気球倶楽部ホ～ホケキョ
25	東京学芸大学蹴球部	56	ウィッフルボールサークル AirDropper
26	女子サッカー部 DUMBO	57	学芸陳式太極拳サークル
27	F.CLEO	58	スキーサークル FRONTIER
28	FC.ALEX	59	東京学芸大学K-POPコピーダンスサークルLupinus
29	FC.Beginners	60	東京学芸大学モルックサークルchee!
30	男子ハンドボール部	61	ソフトテニスサークル なんてね
31	東京学芸大学女子ハンドボール部		

◆学獅子会

学獅子会は、スポーツ振興を目的として、本学の校風や特色を生かした団体として平成4年7月に組織され、競技レベルの向上を目指すとともに会員相互の親睦を図り、個人・団体の顕彰、体育施設の利用調整などを行っています。

3 全学行事

◆小金井祭（学園祭）

小金井祭は、毎年11月頃に行われています。各サークルが演奏、公演等のパフォーマンスを通じて日頃の活動の成果を披露します。毎年足を運び多くのファンを持つ企画もあります。子ども向けの企画が多いことも本学の学園祭の大きな特徴です。

◆サークルリーダー研修

サークルのリーダーを対象に、よりよいサークル活動のために必要な知識・技能とリーダーシップの習得を目的として研修が実施されています。

4 合同研修施設等

◆学内学生合宿所

学生合宿所は、本学学生の課外教育活動を支援するための施設であり、合宿訓練を必要とする学生団体が使用する事ができます。

所在地	東京学芸大学総合グラウンド北側
収容定員	1号室 /22.5畳 (18名) <61名> 2・3号室 /20.0畳 (各16名) 4号室 /6.0畳 (3名) 6号室 /10.0畳 (8名)
使用申込み	使用予定日の1ヶ月前から2週間前までに学生課1番窓口（課外教育係）に申し込むこと。
クリーニング代	学生課1番窓口（課外教育係）に確認
鍵の受け渡し及び返却	学生課1番窓口にて、平日10:00～15:00（授業期間外は12:00～13:00を除く）
諸注意	<ul style="list-style-type: none">・土・日・祝祭日の入退室は出来ない。・やむを得ず上記の時間外に入退室を希望する場合は、事前に学生課に相談すること。・使用許可を受けた後、キャンセルや使用人数の変更は速やかに行うこと。・宿泊以外の目的での使用は認めない。・合宿所内でのコンパ、飲酒、麻雀等、及び飲酒後の合宿所使用は禁止。・ゴミ等の処理、清掃は必ず行うこと。・鍵の管理には十分気をつけるとともに、盗難防止の為外出の際には必ず鍵をかけること。・緊急の場合、平日（月～金）8:30～17:15は、課外教育係（042-329-7188）。それ以外は正門守衛所（042-329-7138）へ連絡すること。・学外者の入室は認めない。・学生合宿所使用心得を遵守すること。

①レイクロッジヤマナカ

所在地	〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野479番地（山中湖畔）
収容定員	<56名>
交通案内	富士急行富士山駅からバス，慶応山荘前下車徒歩5分
使用申込み	電話又はホームページから申し込んで下さい。
	株式会社 R・project（予約センター） TEL.03-6632-2161

②八王子セミナーハウス

所在地	〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1 TEL.042-676-8511(代表)		
収容定員	<296名>		
交通案内	JR八王子駅（南口），京王線北野駅（北口），京王相模原線南大沢駅からバス，野猿峠（やえんとうげ）下車 徒歩5分		
使用申込み	電話又はホームページから申し込んで下さい。		
経費	宿泊費	3,960円～5,720円（会員校価格，本学は会員校です。）	
	食費	朝食 （ピュッフエ） セットメニュー 900円	昼食セットメニュー 1,000円

6

キャリア支援・就職



自分にあった職業を選ぶことは、これからの人生をより有意義に生きていく上でとても大切なことです。

自分の適性や能力といった自己分析を行い、自分というものを充分理解した上で決めるのがよいことは言うまでもありません。また、1年生などの早い段階から将来のキャリアを念頭におきながら学生生活を過ごすことが、就職への道を切り開くポイントとなります。

キャリア支援課〈1番窓口(企業就職係)、2番窓口(教員就職係)〉では、就職活動の進め方、就職ガイダンス等、学年を問わない就職支援を行っていますので1年生から気軽にお越しください。

また、就職支援システム「キャリアタスUC」や「学生キャリア支援室ホームページ」で、求人やインターンシップ、ボランティア、自己創造のための教育体験活動の情報を得ることもできます。

1 学生キャリア支援室

学生キャリア支援室ではキャリア支援セミナー、各種就職プログラムの企画、実施とインターンシップ、進路相談など皆さんが大学生活を豊かに過ごし、将来設計ができるようにお手伝いをしています。

大学生活や進路について相談したいときは、相談窓口（キャリア支援課①・②窓口）にお越しください。

2 就職相談員

教員及び企業等への就職を希望する学生が、自分の進路や就職活動等について個人的に相談できるように体制を整えています。

教員就職相談（原則として月～金曜日の午後）と、企業等就職相談（原則として月・火曜日の午後）の予約をオンラインで受け付けています。

3 就職資料等の閲覧

キャリア支援課内・就職専用掲示板（キャリア支援課前）にて自由に閲覧できる資料

教 員	<ul style="list-style-type: none">・各自治体の公立学校教員採用募集要項・私立学校教員求人票…※・公立学校教員（臨時的任用、時間講師等）の求人票…※・過去の試験問題集・受験報告書（先輩が後輩に向けて書いたもの）・受験対策のための各種読本、雑誌・全国の学校、教育委員会等に関する資料・新聞（教育新聞・日本教育新聞）
公 務 員	<ul style="list-style-type: none">・募集要項やパンフレット（国家公務員・地方公務員）…※・受験対策のための各種読本、雑誌、問題集
企 業	<ul style="list-style-type: none">・求人票…※・就職活動報告書（先輩が後輩に向けて書いたもの）…※・企業就職対策のための各種読本、問題集、情報誌・UIJターン就職情報・インターンシップ情報…※・公共職業紹介施設や就職関連のチラシ・パンフレット
共 通	<ul style="list-style-type: none">・キャリア関連書籍

※：就職支援システム「キャリアタスUC」からも閲覧可能です。（紙媒体の情報と異なる情報もあります。）
<https://uc-student.jp/gakugei/>

4 就職専用掲示板(中央2号館(南講義棟)(C2)2階キャリア支援課前)

中央2号館(南講義棟)(C2)2階及び中央1号館(C1)東側にあります。ガイダンスの実施のほか、就職に関する全てのお知らせはこの2か所に掲示します。学年を問わない行事が多数あります。1年生のうちから、掲示板と併せて「学生キャリア支援室ホームページ」も必ず確認してください。

5 進路状況（令和7年3月卒業生）

[学部] *留学生及び前年9月卒業生は除く

令和7年9月30日現在

<課程別進路状況（学校教育系）>

(人)

進路先		課程	初等教育 教員養成課程 (A類)	中等教育 教員養成課程 (B類)	特別支援教育 教員養成課程 (C類)	養護教育 教員養成課程 (D類)	合計
教員 (非常勤含む)	幼稚園		8	0	0	0	8
	幼保連携型 認定こども園		2	0	0	0	2
	小学校・義務 教育学校		198	17	8	4	227
	中学校・中等 教育学校		47	50	0	2	99
	高等学校		30	45	0	0	75
	特別支援学校		2	0	21	0	23
	日本人学校		5	0	0	0	5
	教員小計		292	112	29	6	439
保育士			6	0	0	0	6
公務員			20	5	1	0	26
企業・団体			129	43	1	3	176
進学			59	43	10	2	114
その他			27	21	1	1	50
小計			241	112	13	6	372
計			533	224	42	12	811

就
職

<コース別進路状況（教育支援係）>

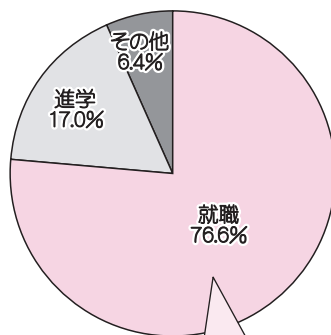
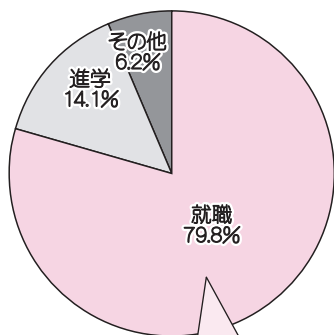
(人)

進路先	コース	生涯学習 コース	キャリア コース	ソーシャル ワークコース	多文化共生 教育コース	情報教育 コース	表現教育 コース	生涯スポーツ コース	合計
教員（非常勤含む）		0	0	0	8	0	0	3	11
公務員		11	1	8	2	0	1	0	23
企業等		22	3	13	27	6	16	23	110
進学		2	15	0	3	7	1	4	32
その他		3	0	0	2	1	3	3	12
計		38	19	21	42	14	21	33	188

◆卒業生の進路 令和7年3月卒業生

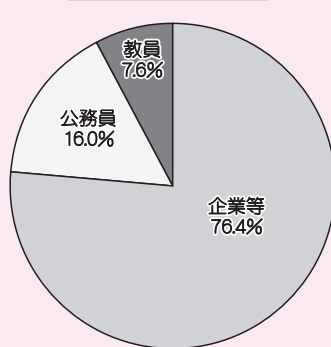
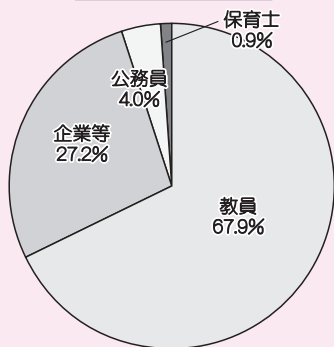
学校教育系 (811名)

教育支援系 (188名)



就職者内訳 (647名)

就職者内訳 (144名)



7

国際交流



1 海外留学

本学では、質の高い、意欲的なグローバル人材、有為の教育者を養成するため、海外留学を推奨しています。本学でいう「留学」とは、教育上有益であるという教育的見地から、大学の承認を受けて学生が外国の大学で学修することをいい、学内選考を経て30名前後の交換留学生が選ばれます。

外国に留学するためには自分でその国や大学の事情を調査し、綿密な計画と周到な準備をする必要があります。毎年6月～7月頃に本学が行う海外留学希望者へのオリエンテーションに参加したり、外国留学体験者から話を聞いたり、指導教員または協定大学とのコーディネーター（本学教員）の先生方に相談したり、各協定校のホームページや国際課にある協定校の資料を調べたり、あるいは学務課で単位履修計画の相談をしたりする必要があります。

◆交換留学制度

本学に在籍する正規課程の学生のうち、大学間交流協定（学生交流覚書）を締結している大学に留学（3ヶ月以上1年以内）を希望する者は、学内の選考を経て「交換留学生（派遣留学生）」として派遣が認められます。

派遣留学希望者の学内選考方法及び時期は下記のとおりです。

- | | |
|-------------------|--------------|
| ●留学のためのオリエンテーション | 毎年6月下旬～7月中旬 |
| ●留学希望調書の提出（10月中旬） | } 当該年度ごとに定める |
| ●選考（面接試験・小論文） | |
| ●選考結果発表（11月中旬） | |

派遣留学生決定後、派遣先大学への申請手続きを経て各大学の受入れ時期にあわせて留学することになります。各協定校への申請締切は、各大学の学期開始時期より5～6ヶ月前となっているのが通例なので、留学計画は充分余裕を持って立てる必要があります。詳細については、留学のためのオリエンテーションで配布する資料および募集要項をよく読んでください。また、英語圏への留学希望者は、TOEFLまたはIELTSのスコア提出が申請要件なので、遅くとも選考1ヶ月前までにはTOEFLまたはIELTSテストを受験し希望調書とともにスコアを提出してください。本学では毎年10月頃にIELTS団体受験を実施しており、そのスコアを申請に使うことができます。

- 単位認定**…留学した外国の大学で習得した単位について、既習得単位と併せて60単位、大学院の場合は10単位を超えない範囲で、本学の単位として認定することができます。
- 授業料**…留学期間中であっても本学に授業料を納める必要があります。大学間交流協定（学生交流覚書）を締結している大学への授業料は免除されますが、渡航費用、保険料、現地での寮費・食費等の生活費等が必要です。
- 身分上の扱い**…本学に在籍のままとし、休学となりません。なお休学しての留学は、本学では留学として取り扱わず、外国で取得した単位について、単位認定の申請をすることはできません。
- 派遣年次**…申請時に本学に1学期以上在籍していることが条件ですが、派遣される年次に制限はありません。
- 奨学金**

大学が申請したプログラムが独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）に採択された場合

資格：採択されたプログラムの趣旨を理解し、学業成績が優秀で人物等に優れ、留学の目的が明確で留学による効果が期待でき留学期間終了後、再び本学に戻り学業を継続すること。

※学生が個人で申請する必要はありません。

内容：月額8～12万円の支給（派遣先大学の所在地により異なる）

※その他に、外部団体等の奨学金に応募したり日本学生支援機構第二種奨学金（短期留学）の貸与を利用することも可能です。また、学生後援会の加入者は支度金等の支援が受けられます。

◆大学間交流協定の締結

諸外国の大学との学術交流を促進するため、本学では国際戦略推進本部が中心となって、大学間交流協定の締結を行っています。特に学生交流に関する覚書を交わすことにより、毎年一定人数の交流（交換）学生が確保され、授業料の不徴収、宿泊施設の提供などが可能なことから、締結大学との間で、円滑な留学の受入れ及び派遣が期待できます。

令和8年2月現在、本学では下記の56校と学生交流に関する協定を締結しています。

◆大学間交流協定（学生交流）締結校一覧

国（地域）名	大 学 名
中 国	北京師範大学、東北師範大学、蘇州大学、香港中文大学、華東師範大学、上海師範大学、華中師範大学、南京師範大学、湖南師範大学、北京外国語大学
韓 国	全南大学校、公州大学校、ソウル市立大学校、ソウル教育大学校、京畿大学校、忠南大学校、京仁教育大学校、清州教育大学校、済州大学校、韓国教員大学校、ソウル大学校師範大学
タ イ 湾	タマサート大学、シラパコーン大学、コンケン大学、チェンマイ・ラーチャパット大学
オーストラリア	国立台湾大学、国立台湾師範大学、国立台中教育大学
ア メ リ カ	キャンベラ大学、西シドニー大学
メ キ シ コ	ポールステイト大学、カーセジ大学、ハワイ大学ヒロ校 ブリッジウォーター州立大学、セントラル・ワシントン大学
ド イ ツ	チアパス州立芸術科学大学
フ ラ ン ス	ハイデルベルク大学、トリア大学第Ⅱ学部、フリードリッヒアレクサンダー大学エランゲンニュルンベルク、ハンブルク大学人文学部、ミュンヘン音楽・演劇大学
ス ウ ェ ー デ ン	国立東洋言語文化大学 (NALCO)、オルレアン大学、パリ・シテ大学
ポ ー ラ ン ド	グルノーブル・アルプ大学、トゥールーズ・ジャン・ジヨレス大学、ストラスブール大学
英 国	ヨテボリ大学人文学部、ウメオ大学教養学部
フ ィ リ ピ ン	ヤギェウォ大学国際政治学部
ベ ト ナ ム	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS)
イ ン ド ネ シ ア	フィリピン教育大学
エ ジ プ ト	ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学、 ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学
	インドネシア教育大学
	アスワン大学（派遣停止中）

◆短期留学プログラム

海外の協定校等で、春、夏の長期休暇中に実施します。JASSO奨学金や本学基金から支援が受けられるものや、所定の成績を修めることにより本学の単位として認定されるものもあります。

募集については、国際課掲示板や本学ポータルに掲載します。

●協定校のサマー（ウインター・スプリング）プログラム

香港中文大学、国立台中教育大学、国立台湾大学、ハイデルベルク大学、西シドニー大学など

●本学が企画するプログラム

キャンパス・アジアプログラム（北京師範大学・ソウル市立大学校）、ISSUPプログラム（メルボルン・サンフランシスコ）

※派遣留学や短期留学プログラムについて、詳細は国際課へお問い合わせください。

2 外国人留学生の受入れ

◆外国人留学生在籍状況（令和7年10月1日現在）

国(地域)名 \ レベル	学部レベル	大学院レベル	計
中 国	34	74	108
韓 国	12	10	22
台 湾	8	4	12
タ イ	8	1	9
ベ ト ナ ム	5	2	7
フ ラ ンス	6	1	7
そ の 他	26	18	44
合 計	99	110	209

※受入人数の多い上記6ヶ国・地域の他、30ヶ国・地域から外国人留学生を受け入れています。

※外国人留学生には、正規の学部学生、大学院学生の他、交換留学生、国費留学生（研究留学生、日本語・日本文化研修留学生、教員研修留学生）、私費外国人留学生等を含みます。

3 国際交流会館

国際交流会館（International House）は、外国人留学生及び外国人研究者の宿舎であり、また教育研究の国際交流のために活用される施設で、平成6年10月に開設されました。

建物は6階建ての単身棟（48室）と、3階建ての家族・夫婦棟（12室）の2棟からなり、単身棟の1階には共用施設として、談話、「多目的ホール」、「学習室」などがあります。

単身棟には平日13：00～19：00の間、管理人が常駐しています。その他の時間帯は、外からは施錠状態になっています。会館の利用等に関する事務は、国際課で行っています。

附属図書館



附属図書館の大きな役割の一つは、学生の皆さんの学習・調査活動を支援することです。図書館には、図書、雑誌、新聞ばかりでなく、視聴覚資料や電子ブック、電子ジャーナル、データベースなどの様々な資料が整備され、皆さんの利用を待っています。また、図書館では、図書館の利用法、資料の探し方、電子ジャーナルやデータベースの使い方などに関するオリエンテーションや講習会も開催しています。図書館を大いに利用して実りある学生生活を送ってください。

1 開館時間

- 月曜日～金曜日 8：30～21：30（休業期間は17：00まで）
- 土・日曜日、祝日 11：00～18：00
- 授業のある祝日 8：30～18：00

※事情により、変更になる場合があります。最新の情報は、図書館ホームページで確認してください。
 (<https://lib.u-gakugei.ac.jp/>)

2 休館日

- 年末・年始
- その他の事情により、館長が必要と認めた日

※台風等への対応のため、急な開館時間の変更があります。最新の情報は、図書館ホームページで確認してください。

3 蔵書

◆蔵書数（令和7年3月31日現在）

	図書（冊）	学術雑誌（種）
和書	699,981	8,697
洋書	218,171	3,312
計	918,152	12,009

◆特色あるコレクション

- ①初等中等教育用教科書 ラーニングコモンズ及び書庫
文部科学省検定済教科書を網羅的に収集しています。
- ②教育関係雑誌・研究紀要 3階開架閲覧室及び書庫
教育関係雑誌コーナー及び全国の大学の人文・社会系を中心とした研究紀要コーナーを設置しています。

③研究用貴重図書等 …………… 書庫及びマイクロ資料室

ア・文庫

- 望月文庫（東京府青山師範学校創立50年記念文庫）
主として江戸・明治期の教科書（往来物ほか）
- 松浦文庫（教育史関連で特筆すべき資料が多い）
- 竹早文庫（人文・社会科学関係）
- 瀬川文庫（ギリシヤ文化・思想、教育学）
- 教育課程文庫（米国寄贈教育書等）
- 西村文庫（美術教育関係）
- 谷川俊太郎合唱コレクション文庫《声のオーロラ》（合唱楽譜ほか）

イ・大型コレクション

- ドイツ教育学集書
- 英国教育学文献集成
- フランス教育学集書
- ロシア・ソビエト教育研究雑誌コレクション（マイクロフィッシュ）
- ヘボンその他の外国人編纂による日本語・東洋語辞書コレクション
- 欧米障害児教育基本文献集成
- 双六コレクション -近世庶民教育資料-
- 17世紀～19世紀フランス教育史コレクション
- ルドルフ・シュタイナー文献コレクション

④マイクロ資料 …………… マイクロ資料室

ア・ERIC (Educational Resources Information Center) が作成した教育関連分野の文献に関する二次情報のうち、RIE (Resources in Education) に収載された原報（一次情報）の一部をマイクロフィッシュで所蔵

イ・プランゲ文庫雑誌コレクションのうち教育部門

⑤視聴覚資料 …………… 視聴覚資料コーナー

CD	2,271タイトル	} 館内で視聴できます
V I D E O	1,183タイトル	
カセット	206タイトル	
レコード	1,331タイトル	
L D	114タイトル	
D V D	1,865タイトル	
他		



4 図書館の利用にあたって

図書館に入館する場合には、必ず学生証を携帯してください。
学生証の裏面に図書館利用番号のバーコードがあります。

◆館内閲覧

1階から3階の開架閲覧室では、書架から自由に取り出して読んでください。読み終わった図書は、必ずもとの場所に戻してください。地下書庫については初めて利用する際にカウンターで簡単な手続きと説明を受けていただきます。

◆館外貸出

- ①図書の館外貸出は、1階に設置してある自動貸出装置またはサービスカウンターで所定の手続きをしてください。その際、学生証が必要となります。
- ②出口にブックディテクション（貸出手続確認装置）が設置してあります。所定の手続きをしないで図書を持ち出すと出口でブザーが鳴りますので注意してください。
- ③図書の貸出冊数は1人12冊以内で期間は1ヶ月以内です。雑誌については1人3冊以内で期間は1日以内の貸出となります。返却期限を守らないと次の貸し出しが出来なくなります。

◆参考調査・相互利用

1階サービスカウンターでは、文献の探し方などの相談や調べもののお手伝いをしています。また、文献複写や本学にない資料の取寄せ、他大学図書館利用の際の「閲覧依頼状(紹介状)」の交付も行いますので、ご相談ください。

◆学習サポーター

ラーニングcommons内で様々な企画展示により、資料を紹介しています。

◆図書館ホームページ <https://lib.u-gakugei.ac.jp/>

- ・開館カレンダー
開館日や開館時間は変更となる場合があります。
利用する前に最新情報を確認しましょう。
- ・蔵書検索 (OPAC)
図書・雑誌の配架場所 (請求記号) を知ることができます。
- ・マイライブラリ
図書館の情報に関する個人のページです。
貸出・予約状況や図書館からの連絡事項を確認できます。
- ・データベース一覧
学内外で利用できるデータベースについてまとめています。
- ・東京学芸大学リポジトリ, 東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ
大学における研究成果, デジタル公開資料にアクセスできます。
- ・在宅利用できるサービス
自宅やキャンパスの外から利用できる図書館サービスをまとめてご案内しています。

ホームページ上の様々なオンラインサービスを使いこなして豊かな学生生活を手に入れましょう。



◆ラーニングcommons（1F）

グループ学習・研究の場として自由に利用できます。

◆情報アシスタントによる相談窓口（1F）

PCに関する相談や授業等におけるPCの活用に関する相談を受け付けています(授業期間中)。

情報アシスタントによる相談窓口開設時間 ① 10：20～12：00
② 12：50～14：30
③ 14：40～16：20

◆その他

図書館利用上の詳しい説明は図書館ホームページをご覧ください。

図書館の利用について定める「東京学芸大学附属図書館利用規則」は図書館ホームページにも掲載されています。併せてご覧ください。

保健管理センター



保健管理センターは、学生が健康な生活を送れる様、支援を行うサービス機関です。学生の皆さんが、勉強やサークル活動等に専念できるよう、医師・カウンセラー・看護師が心身両面にわたり相談や助言指導、診療を行っています。

1 学生健康相談・診療

◆身体健康相談・診療

身体に異常を感じたり不安のある人は、遠慮なく相談に来てください。病気一般についての御相談や健康相談など何でもどうぞ。

◆心の健康相談（カウンセリング）・診療

人間にはさまざまな悩みがあるものです。とくに人生の岐路に立つ青春期の悩みは、人生を大きく変える可能性があります。

例えば、精神・心理的な悩み（眠れない、憂うつ、意欲が出ない、赤面、人の視線が気になるなど）その他、自分自身のこと、人間関係、人生指針をめぐっての問題など。

これらのことを、医師・カウンセラー・看護師が相談に応じますので、気軽に利用してください。相談における守秘義務は厳守されます。

◆その他

常備薬もしくは服薬のある方は、学内にもご持参ください。

2 応急処置

けがや急病の時は、応急処置や診療を行い、専門医療機関の紹介等を行います。休養を要する場合は、休養室が利用できます。

3 健康診断

◆定期健康診断

4月期 全学生（研究生・科目等履修生は除く）

- 健康診断は潜在する病気の発見や健康管理を支援・助言する場合の基礎データとなります。また、就職、進学、教育実習、介護等体験、奨学金給付などで健康診断証明書の発行が必要な場合の大切な資料になりますので、対象の学生は必ず受けてください。
- 項目は、内科診察、胸部レントゲン、血圧測定、健康調査票などがあります。なお、健診で異常または疑わしい所見がありましたら、必要に応じ専門医療機関で精密検査や治療を受けるよう助言します。

◆特殊健康診断

R I（ラジオアイソトープ）やX線、有機溶媒等を取り扱う学生は、年2回定期的な検査及び内科診察等を行っています。

◆健康診断証明書発行

健康診断証明書が必要な場合は、保健管理センター内の健康診断証明書自動発行機から発行することができます。ただし、すぐに発行ができない場合もありますので、日時に余裕をもってお越し下さい。発行不可の場合や、結果によっては保健管理センターでの診察または、他医療機関での受診が必要となる場合があります。この場合、保健管理センター1F受付で申請して下さい。

健康診断証明書は、大学で実施する定期健康診断を受けていないと、発行できませんのでご注意ください。（詳細は、HPをご覧ください。）

※博士課程及び非正規生は自動発行をしていません。

4 健康教育

学生の皆さんが健康的にキャンパス・ライフを過ごし、健全な社会人に成長して行くためには健康に関する正しい知識と実践がなければなりません。保健管理センターでは、健康情報などを掲示板やHPに随時掲載していますので、そちらをご覧ください。

◆アルカディア

保健管理センター2Fの一部を「アルカディア」と名付け、未使用時に会議等で開放しています。当大学の学生なら誰でも利用可能です。利用時は、3日前までに1F受付にお申し込み下さい。

5 物品貸出

救急バッグ、書籍等の貸出をしています。貸出は申請の翌日以降になります。

6 保健管理センター利用時間

I. 窓 口

曜 日	時 間
月 ~ 金 (平日のみ)	9:00~12:30 (受付開始 9:30)
	13:30~17:00 (最終受付 16:30)

※予約済みの診察や救急対応に関しては、この限りではありません。
※学会、会議、その他により、休診・時間変更等がありますので、ご了承下さい。

II. 健康診断証明書発行機

曜 日	時 間
月 ~ 金 (平日のみ)	9:30~15:30

ICT／情報基盤センター



ICT/情報基盤センターの情報システム室では、学生生活を送るために必要な情報をお知らせする「学芸ポータル」を始めとした様々な学内情報システム及び学内ネットワークの管理を担っています。また、入学時にお渡しした「ICT/情報基盤センター利用許可書」に記載されているアカウントの管理も行っています。

1 パスワードを忘れたら

「ICT/情報基盤センター利用許可書」に記載しているアカウント（GARNet アカウント、Microsoft アカウントの2種類があります）のパスワードは仮のもので、自分しか分からないパスワードに変更する必要があります。そのパスワードを忘れた場合はパスワードの再発行を行います。学生証を必ず持参し、ICT/情報基盤センター情報システム室に来てください。

(注) GARNet アカウントは、大学メールを使ってリセットすることが可能です。

以下のページを参照してください。

<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~ipccenter/manual/passreissue.pdf>

2 ネットワーク環境

大学内では、講義棟を始め学生生活を送るにあたり必要な場所に無線アクセスポイント（無線AP）を配置しています。お持ちのノートパソコンを大学のネットワークへ接続できる場所については、以下のURLを参考にしてください。SSIDとパスワードも載せてあります。

<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~ipcenter/area.html>

3 情報システム

- 学芸ポータル：大学ポータルサイト。大学内でネットワークに接続した後に必ず出るサイト。教職員からの連絡、カレンダー、リンク集があります。
- 学生情報トータルシステム：履修登録などの授業関係、成績確認、各種実習・体験の登録など、幅広い情報があります。【問合せ先：学務課】
- WebClass：授業支援システム。授業毎にコースがあり、教材閲覧・レポート提出等に使われます。
- Proself：ファイル共有システム。学生は100MB分のファイルを保有できます。
- TGUポートフォリオシステム：学内システムに蓄積されているデータに基づいて、自分自身の学習状況が可視化されたダッシュボードと学生生活や学びの振り返りを支援するチャットボットを利用できます。
- 実習ポートフォリオシステム：附属学校園での教育実習における教育実習日誌の作成、実習／授業記録の蓄積、共有ができます。本システム上で実習指導担当教員と日誌をやりとりできます。

4 問合せ

曜日	受付時間
月～金 (平日のみ)	9:00～12:00
	13:00～17:00

メールアドレス：ipcenter@u-gakugei.ac.jp

ICT／情報基盤センター情報システム室

URL：<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~ipcenter/>

大学の概要

1 沿革

本学は戦前に東京にあった東京第一師範学校、東京第二師範学校、東京第三師範学校と東京青年師範学校が母体となり、昭和24年教育者養成を目的とする新制大学として発足した。これらの師範学校の前身は、明治6年に設立された東京府小学教則講習所や明治33年に設立された東京府女子師範学校などである。

設立以来本学は、全国の教育界に多くの人材を送り出し、教員養成において伝統ある大学として発展してきた。

大学の発足当時、本学は世田谷、小金井、大泉、竹早、追分の5分校と調布分教場で構成され、小金井、大泉、竹早、追分の4分校には前期課程（1・2学年）が、世田谷分校には後期課程（3・4学年）が置かれていた。その後大学統合計画に基づいて昭和26年に調布分教場が廃止されたのをはじめとして、各分校が順次廃止され、昭和39年に小金井市の現在地に統合された。

昭和41年学芸学部を教育学部と改めるとともに、大学院教育学研究科（修士課程）を設置し、人文科学・社会科学・自然科学や体育・芸術の幅広い分野にわたる教育研究を行う体制を整え、高度に専門化された知識と能力を備えた有能な教員の養成を行うようになった。

その後昭和48年には特殊教育特別専攻科を設置し、特別支援教育をより広く実施する体制を確立した。

昭和63年からは、既設の教員養成課程（教育系）に加え、新たに学校教育以外の分野で社会に貢献する教育者を育成する新課程（教養系）を設置し、時代の要請に応じた幅広い人材の育成に努めている。

平成8年には、埼玉大学、千葉大学、横浜国立大学とともに教科教育学を中心とする研究者養成を目的とした大学院連合学校教育学研究科（博士課程）を設置した。

平成16年に日本の高等教育政策の変更とともに、本学も国立大学法人東京学芸大学となり、現在の経営体制を確立した。

平成20年には、大学院教育学研究科に専門職学位課程（教職大学院）を設置して、日本の教育に貢献するための体制を充実させた。

平成27年に、従来の教育系を学校教育系に改編するとともに、教養系を廃止して学校現場と協働できる教育支援者を養成する教育支援系を新設した。

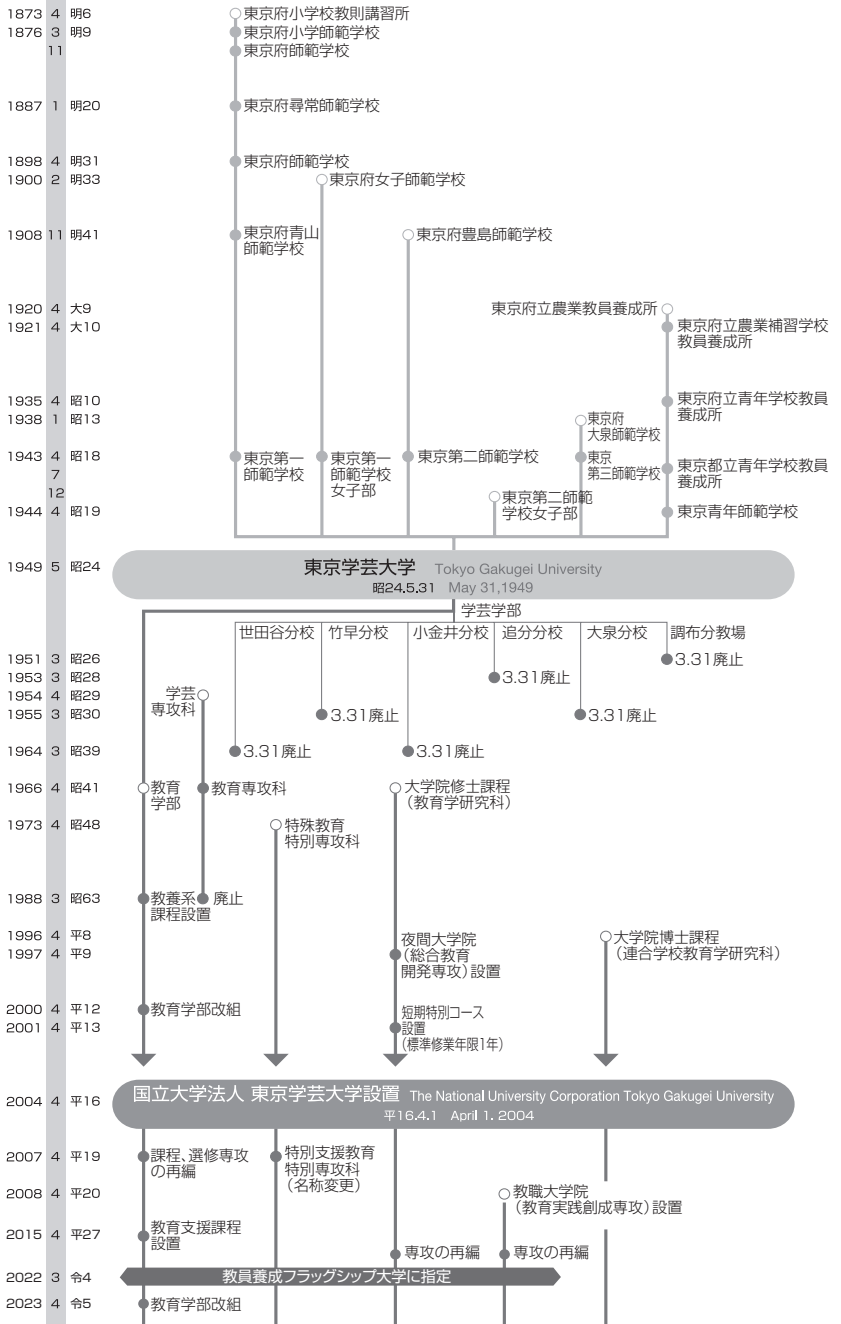
平成31年には、大学院教育学研究科の再編を行い、修士課程における教員養成機能を教職大学院へ移行し、修士課程は教育支援人材養成の高度化を図る課程に再編した。

令和4年に、「教員養成フラッグシップ大学」に指定された。

令和5年には、教員学部の再編を行い、既設の教員養成課程を一つにまとめ、学校教育教員養成課程を設置し、教育支援課程と2つの課程で教育者を養成する体制を充実させた。

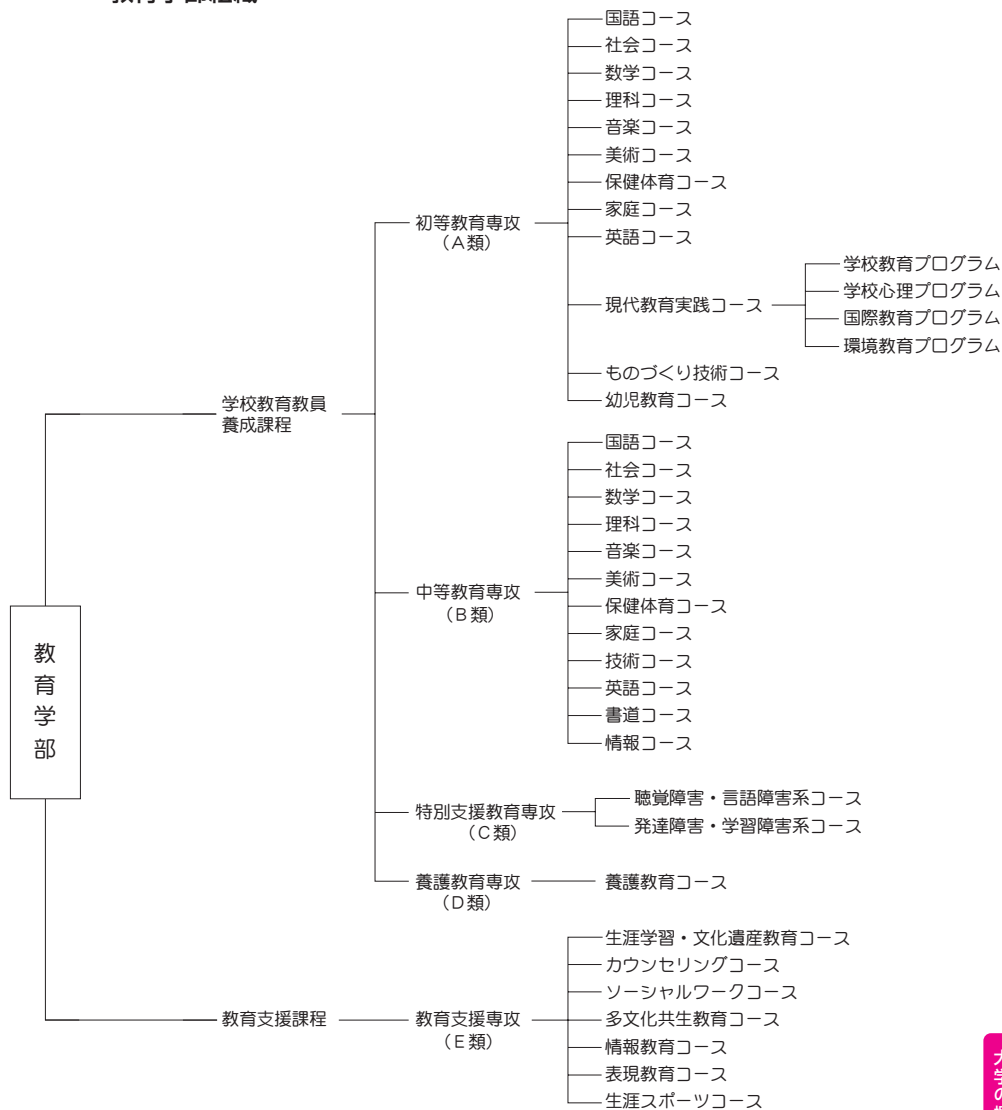
沿革表

History

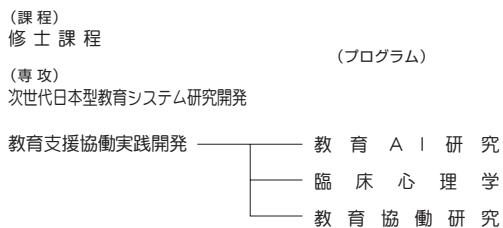
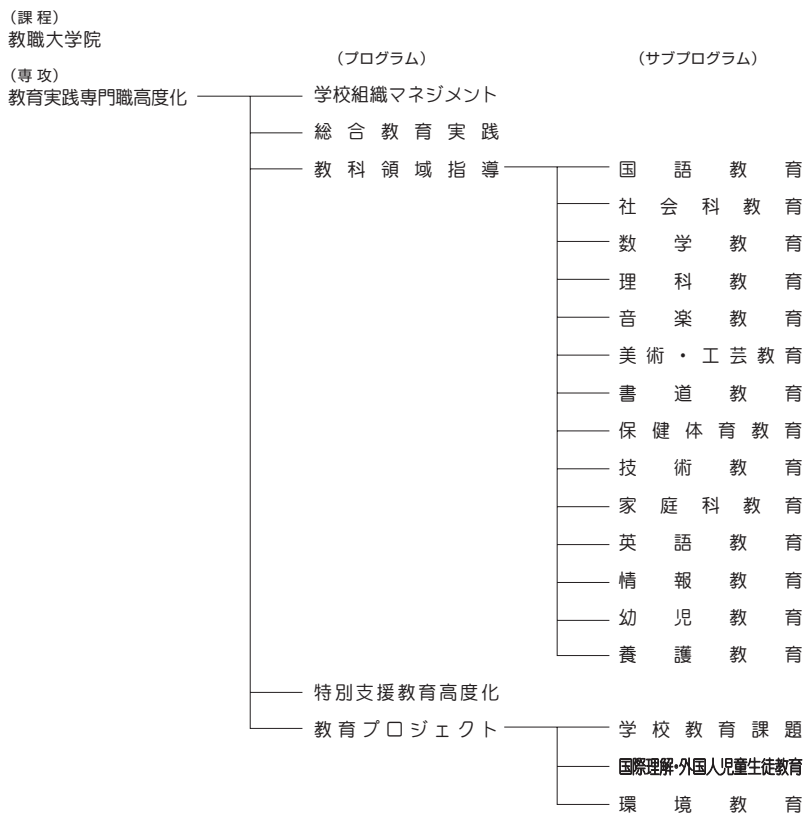


2 組織

教育学部組織



大学院（修士課程・教職大学院）組織 教育学研究科



大学院（博士課程）組織

連合学校教育学研究科

学校教育学専攻

教育構造論講座 —— 教育構造基礎研究, 発達構造研究, 教育開発研究

教育方法論講座 —— 教育方法基礎研究, 幼年期教育研究, 学校心理学研究, 教育経営研究

発達支援講座 —— 発達障害学, 支援システム学, 支援方法学

言語文化系教育講座 —— 国語教育学, 外国語教育学, 日本語教育学, 国語教育内容基礎研究, 外国語教育内容基礎研究

社会系教育講座 —— 社会系教育学, 地理教育内容基礎研究, 歴史教育内容基礎研究, 公民教育内容基礎研究

自然系教育講座 —— 数学教育学, 理科教育学, 数学教育内容基礎研究, 物理学教育内容基礎研究, 化学教育内容基礎研究, 生物学教育内容基礎研究, 地学教育内容基礎研究

芸術系教育講座 —— 音楽教育学, 美術教育学, 音楽教育内容基礎研究, 美術教育内容基礎研究, 書道教育内容基礎研究, 芸術表現教育内容基礎研究

健康・スポーツ系教育講座 —— 体育科教育学, 保健科教育学, 体育科教育内容基礎研究, 保健科教育内容基礎研究

生活・技術系教育講座 —— 生活科学教育学, 技術教育学, 生活科学教育内容基礎研究, 技術教育内容基礎研究

特別支援教育特別専攻科組織

特別支援教育特別専攻科（特別支援教育専攻）

12

資料

東京学芸大学施設所在地一覧

施設名	電話番号	郵便番号	住 所
事務局(本部棟)	042-329-7111	184-8501	東京都小金井市貫井北町4-1-1
図書館	042-329-7225		
環境教育研究センター	042-329-7190		
特別支援教育・ 教育臨床サポートセンター	042-329-7671		
国際交流/留学生センター	042-329-7764		
保健管理センター	042-329-7211		
ICT/情報基盤センター (情報システム室)	042-329-7710		
理科教員高度支援センター	042-329-7526		
学生相談室	042-329-7758		
学生キャリア支援室	042-329-7864		
障がい学生支援室	042-329-7905		
教育インキュベーションセンター	042-329-7877		
こどもの学び困難支援センター	042-329-7119		
アート・アスレチック教育センター	042-329-7901		
放射性同位元素総合実験施設	042-329-7505		
有害廃棄物処理施設	——		
国際交流会館	042-329-7736		
附属幼稚園小金井園舎	042-329-7812		
附属小金井小学校	042-329-7823		
附属小金井中学校	042-329-7833		
附属世田谷小学校	03-5706-2131	158-0081	東京都世田谷区深沢4-10-1
附属世田谷中学校	03-5706-3301	158-0081	東京都世田谷区深沢4-3-1
附属高等学校	03-3421-5151	154-0002	東京都世田谷区下馬4-1-5
附属大泉小学校	03-5905-0200	178-0063	東京都練馬区東大泉5-22-1
附属国際中等教育学校	03-5905-1326	178-0063	東京都練馬区東大泉5-22-1
附属幼稚園竹早園舎	03-3816-8951	112-0002	東京都文京区小石川4-2-1
附属竹早小学校	03-3816-8941	112-0002	東京都文京区小石川4-2-1
附属竹早中学校	03-3816-8601	112-0002	東京都文京区小石川4-2-1
附属特別支援学校	042-471-5274	203-0004	東京都東久留米市氷川台1-6-1
大泉寮	03-3922-0623	178-0063	東京都練馬区東大泉5-22-1
小平寮	042-323-6978	187-0011	東京都小平市鈴木町1-102
東久留米国際学生宿舎	042-471-6977	203-0004	東京都東久留米市氷川台1-22-2

東京学芸大学の校章について



この校章は、しし座と太陽のコロナをデザインしたものです。本学の創立日である5月31日の夜空に光り輝くしし座の威厳と太陽の輝きを本学の出発に重ね合わせました。以前から、本学の学生歌「若草もゆる」の中でも歌われ、広く愛されてきたこのしし座のマークは、平成21年の東京学芸大学創立60周年にあたり、正式な校章として認定されました。

東京学芸大学学生歌

若草もゆる <昭和32年制定>

山田 南海司 作詞 (昭和33.3.美術科卒) 佐久間 威 作曲 (昭和36.3.数学科卒) 佐々木 徹 伴奏編曲 (昭和34.3.音楽科卒)

(1)

若草もゆる 武蔵野の
広きながめに はぐくまれ
学びの園に 相つどう
われら数千の 若人は
自由を守り 真理をきわむ
獅子の星座の 旗の下
希望輝く わが母校

(2)

流れも清き 多摩川の
つきぬ風情に はぐくまれ
学びの園に 相つどう
われら数千の 若人は
平和を愛し 歓喜をうたう
獅子の星座の 旗の下
希望輝く わが母校

(3)

文化の都 建学の
崇き理想に はぐくまれ
学びの園に 相つどう
われら数千の 若人は
教養を高め 知識を磨く
獅子の星座の 旗の下
希望輝く わが母校

東京学芸大学学生歌

<昭和32年制定>

若草もゆる

作詞 山田南海司
作曲 佐久間 威
編曲 佐々木 徹

元気よく

Piano introduction in B-flat major, 4/4 time. The melody is in the right hand, and the accompaniment is in the left hand. The piece starts with a whole note chord in the right hand and a half note chord in the left hand, followed by a series of chords and eighth notes.

Vocal and piano part 1. The vocal line starts with a melody in the right hand, and the piano accompaniment is in the left hand. The lyrics are: わな かがん くれか さの もきみ ゆあ 二二 る(る) む(む) け さまん 二二 しが の の の の ひつた 二二

Vocal and piano part 2. The vocal line continues with a melody in the right hand, and the piano accompaniment is in the left hand. The lyrics are: るきか きぬき なかり がせ(一) めい(二)う に(二)に は ぐ く ま れ ま な

Vocal and piano part 3. The vocal line concludes with a melody in the right hand, and the piano accompaniment is in the left hand. The lyrics are: び の そ の に あ い つ ど う わ

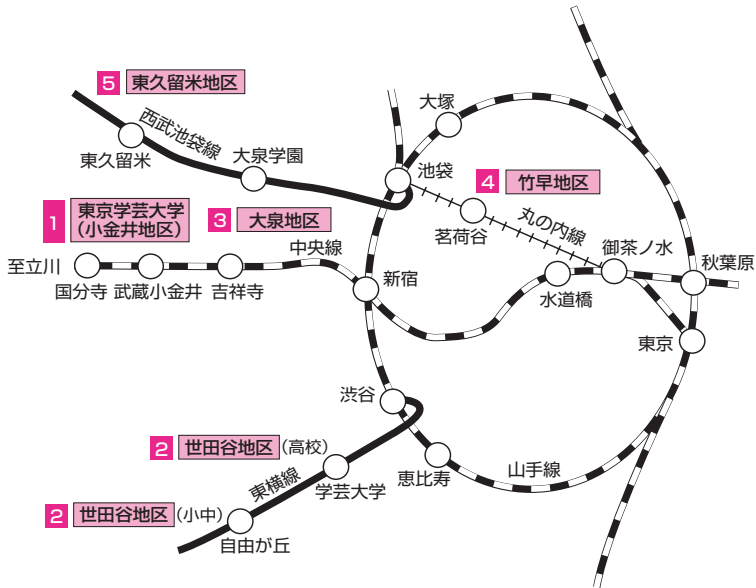
れ ー ら す う せん の わ こ ー ど は

じ ゆ う ま ま り し か ん り き を わ む し の せ い さ の
 き ょ う よ う ま た か め ち し き を み が ぐ

は た の も と き ぼ ー っ か が ー や ー く わ

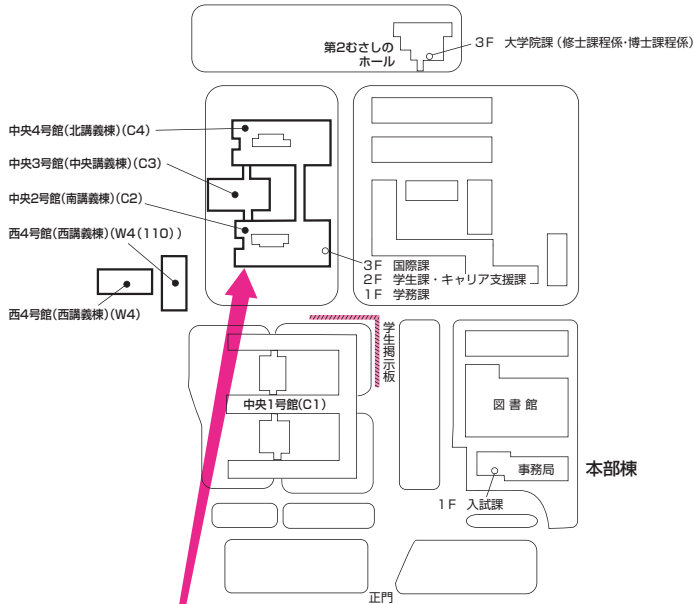
が ー ぼ こ う ^{2. な} _{3. な}

東京学芸大学及び附属学校の位置図

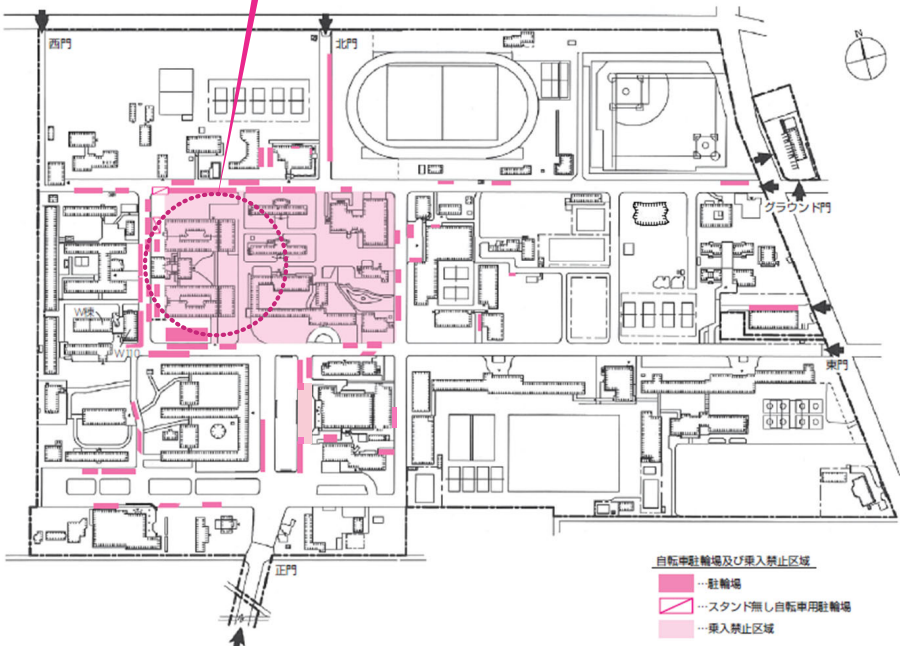


1	東京学芸大学 (小金井地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校・中学校 武蔵小金井駅(北口)から京王バス(小平団地行)学芸大正門下車 京王バス(中大循環)学芸小前下車 京王バス(国分寺駅北口行)学芸大正門下車 ※本数が少ないためご注意ください。 国分寺駅(北口)から 徒歩20分 京王バス(武蔵小金井駅北口行)学芸大正門下車 ※本数が少ないためご注意ください。 銀河鉄道バス(小平駅南口行)学芸大・世田谷専門学校下車 ※このバス停に一番近い大学の門は「北門」です。 小平駅(南口)から 銀河鉄道バス(国分寺北口行)学芸大・世田谷専門学校下車 ※このバス停に一番近い大学の門は「北門」です。
2	世田谷地区	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校 東横線・大井町線自由が丘駅から東急バス(駒大深沢キャンパス行)東深沢小学校下車 徒歩4分 渋谷駅から東急バス(等々力行)深沢不動前下車 徒歩5分(小学校)/10分(中学校) 恵比寿駅から東急バス(用賀行)学芸附属小学校下車 徒歩5分(小学校) 学芸附属中学校下車 徒歩4分(中学校) ・高等学校 東急東横線「学芸大学」駅から徒歩15分、東急田園都市線「三軒茶屋」駅から徒歩20分 渋谷駅から東急バス(野沢龍雲寺循環)学芸大学附属高校下車
3	大泉地区	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・国際中等教育学校 大泉学園駅から 徒歩8分 吉祥寺駅から西武バス(都民農園セコニック, 新座栄, 大泉学園駅南口行) 学芸大附属前下車
4	竹早地区	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校・中学校 地下鉄丸の内線茗荷谷駅から徒歩12分 池袋駅から都バス(東京ドームシティ行)春日二丁目下車 大塚駅から都バス(錦糸町駅前)春日二丁目下車
5	東久留米地区	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校 東久留米駅から 徒歩10分

講義室案内



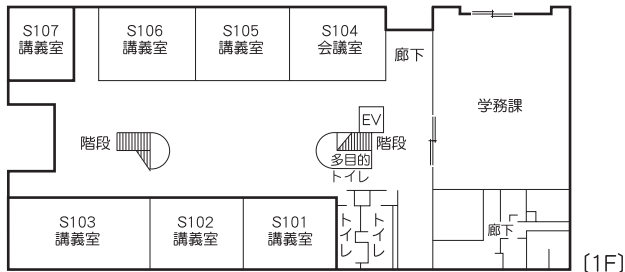
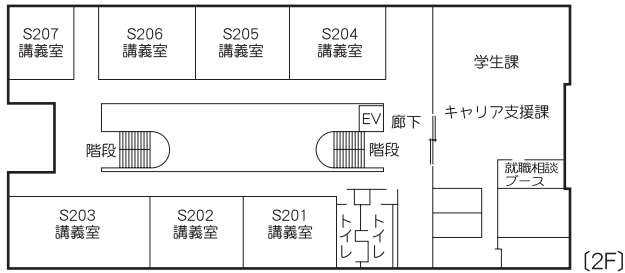
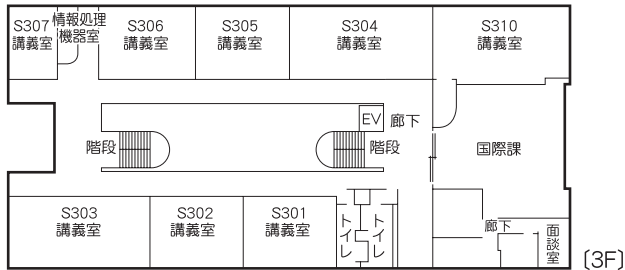
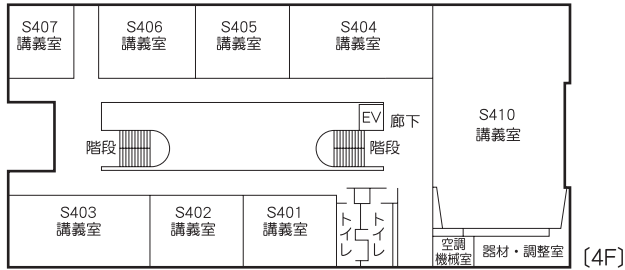
小金井地区建物配置図



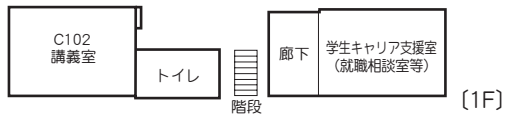
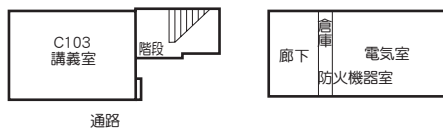
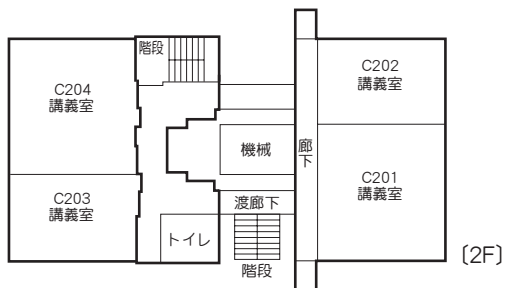
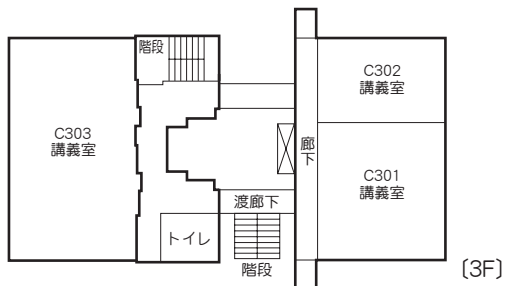
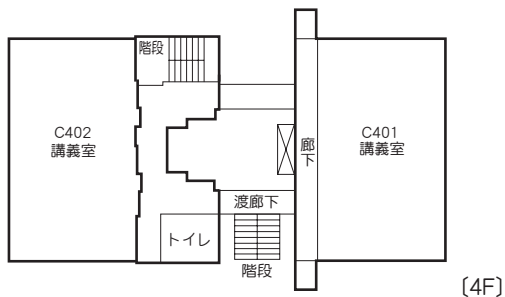
教室収容定員一覧

棟	階	教室名	収容定員	教育機器等備品	棟	階	教室名	収容定員	教育機器等備品		
中央2号館 (南講義棟) (C2)	1	S101	40名(可)	ブ	中央4号館 (北講義棟) (C4)	3	N305	56名(可)	ブ		
		S102	52名(可)	ブ			N306	60名(可)	ブ		
		S103	96名(可)	ブ			N307	30名(可)	ブ		
		S105	56名(可)	ブ			4	N401	60名(可)	ブ	
		S106	56名(可)	ブ				N402	60名(可)	ブ	
		S107	32名(可)	ブ				N403	104名(固)	ブ	
		2	S201	52名(可)				ブ	N404	117名(可)	ブ
	S202		52名(可)	ブ		N405		56名(可)	ブ		
	S203		104名(固)	ブ		N406B		24名(可)	ブ※		
	S204		48名(固)	ブ		N407	40名(可)	ブ			
	S205		48名(固)	ブ		N410	176名(固)	ブ、電			
	S206		48名(固)	ブ		N411	140名(固)	ブ			
	S207	32名(可)	ブ	西4号館 (西講義棟) (W4)		1	W110	284名(固)	ブ		
	3	S301	52名(可)				ブ	2	W201	70名(可)	ブ、電
		S302	52名(可)			ブ	3		W301	70名(可)	ブ
		S303	104名(固)			ブ		W302	70名(可)	ブ、電	
		S304	72名(可)			ブ	東7号館 (E7)	1	講義室1	81名(可)	ブ
		S305	56名(固)			ブ			講義室2	54名(可)	ブ
		S306	56名(可)	ブ		2		講義室3	54名(可)	ブ	
	S307	24名(可)	ブ	ラーニングバス				54名(可)	ブ		
	S310	80名(可)	ブ	大学院 アカデミー プレイゼン		3	院AL1	80名(可)	ブ、電		
4	S401	52名(可)	ブ		院AL2		80名(可)	ブ、電			
	S402	52名(可)	ブ		院AL3		80名(可)	ブ、電			
	S403	104名(固)	ブ		院AL4		80名(可)	ブ、電			
	S404	104名(固)	ブ								
S405	56名(可)	ブ									
S406	56名(可)	ブ									
S407	32名(可)	ブ									
S410	300名(固)	ブ									
中央3号館 (中央講義棟) (C3)	1	C102	56名(可)	ブ	可=机可動 固=机固定 ブ=プロジェクター 電=電子黒板 ※=スライディングウォールで 間仕切った教室 全教室に無線LAN設置						
		C103	56名(可)	ブ							
	2	C201	123名(固)	ブ							
		C202	78名(固)	ブ							
		C203	60名(可)	ブ							
		C204	120名(固)	ブ							
	3	C301	130名(固)	ブ							
		C302	78名(固)	ブ							
4	C401	244名(固)	ブ								
	C402	204名(固)	ブ								
中央4号館 (北講義棟) (C4)	1	N101	60名(可)	ブ							
		N102	60名(可)	ブ							
		N103	104名(可)	ブ							
		N104	64名(可)	ブ							
		N105	64名(可)	ブ							
		N106	64名(可)	ブ							
		N107	40名(可)	ブ							
	2	N201	60名(可)	ブ							
		N202	60名(可)	ブ							
		N203	104名(固)	ブ							
		N204	64名(可)	ブ							
		N205	64名(可)	ブ							
		N206	64名(可)	ブ							
	3	N207	40名(可)	ブ							
3	N301	60名(可)	ブ								
	N302	60名(可)	ブ								
	N303	104名(固)	ブ								
	N304	117名(可)	ブ								

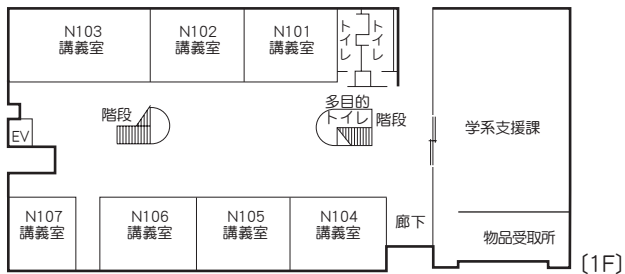
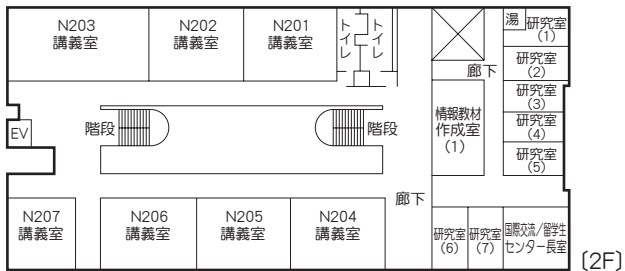
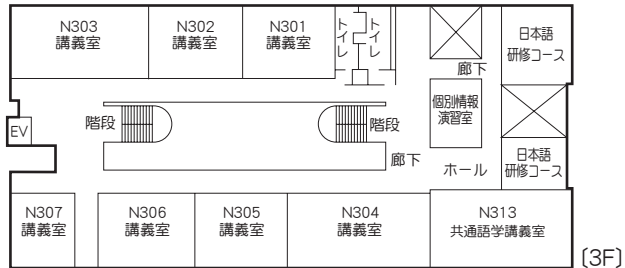
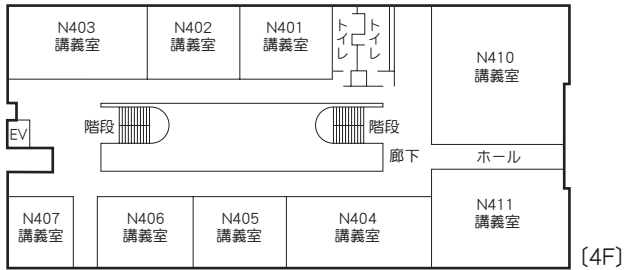
中央2号館(南講義棟)(C2) 平面図



中央3号館(中央講義棟)(C3) 平面図



中央4号館(北講義棟)(C4) 平面図

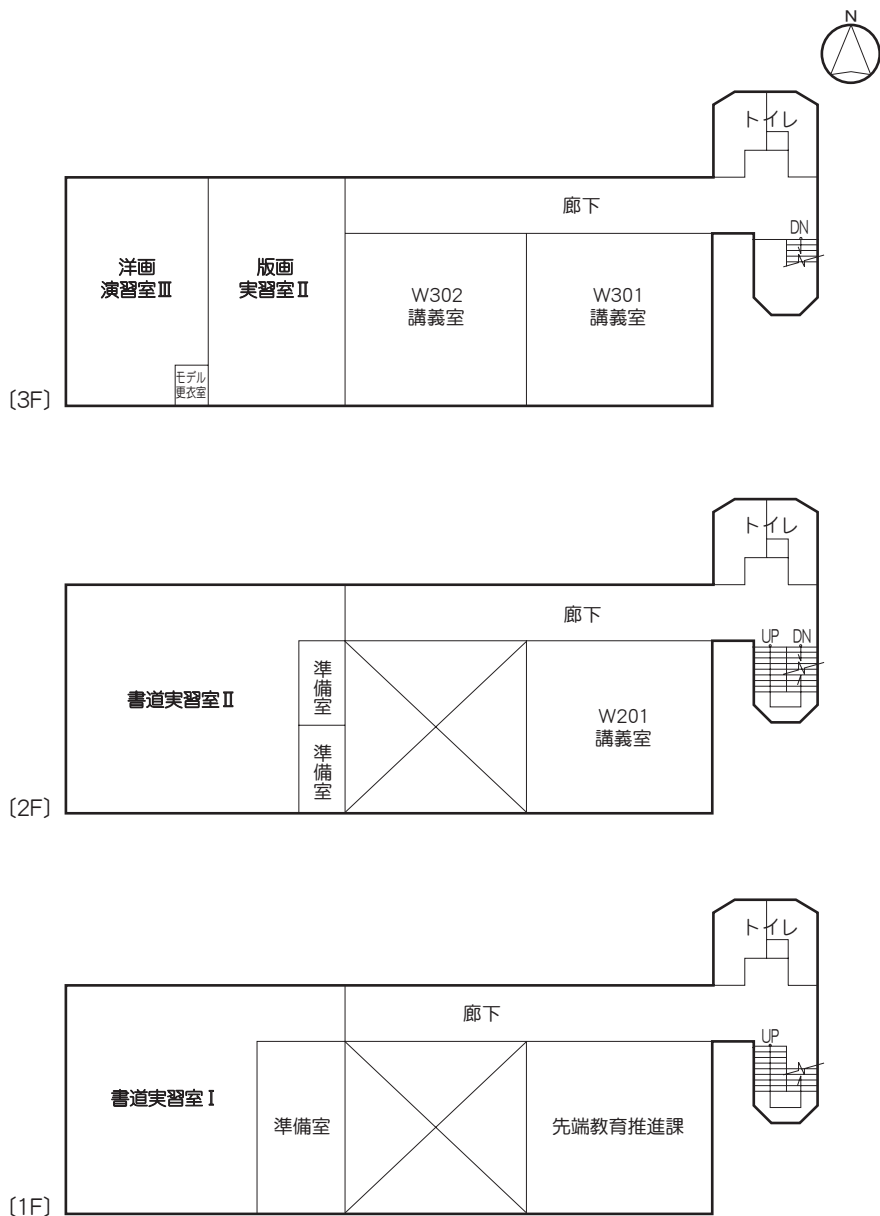


西4号館(西講義棟)(W4(110)) 平面図



[1F]

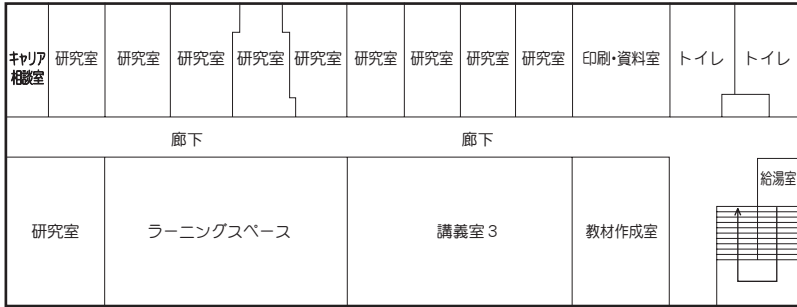
西4号館(西講義棟)(W4) 平面図



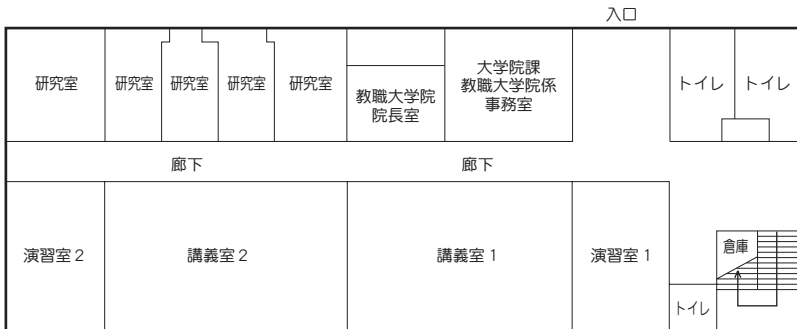
東7号館 (E7) 平面図



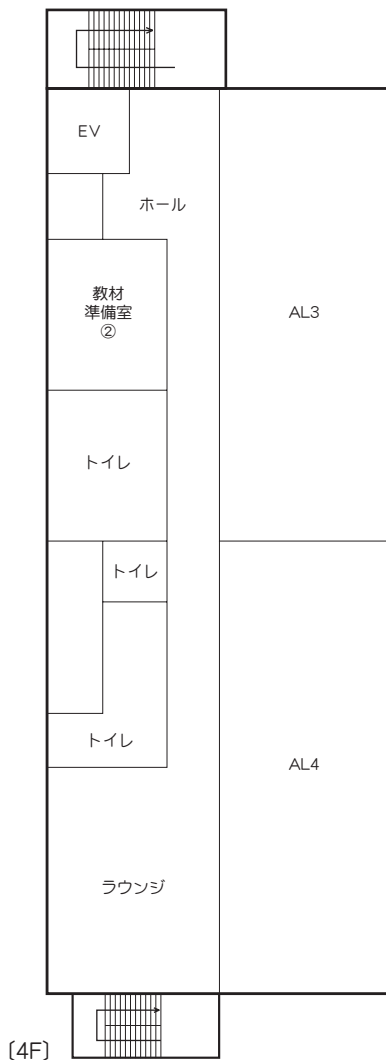
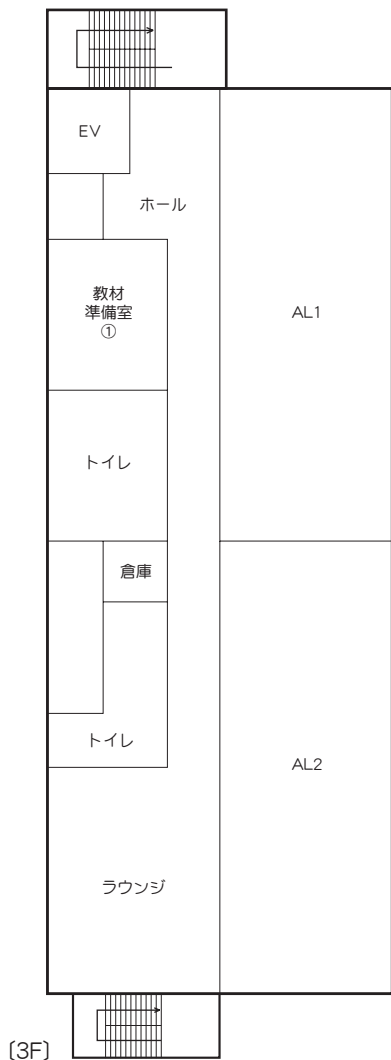
(2F)



(1F)



図書館(大学院アクティブラーニングセンター) 平面図



小金井キャンパスマップ Koganei Campus Map



学務部

Student Affairs Department

- C2 学務課〈中央2号館1F〉 Student Affairs Division
- C2 学生課・キャリア支援課〈中央2号館2F〉 Student Service Division, Career Support Division
- C2 国際課〈中央2号館3F〉 International Division
- 209 大学院課〈第2むさしのホール3F〉 Graduate School Division
- E7 大学院課〈教職大学院〉〈東7号館〉 Graduate School Division (Graduate School of Teacher Education)
- 205 図書館〈大学院アクティブラーニングセンター〉 Graduate School Active Learning Center

センター

Centers

- W2 先端教育人材育成推進機構 上廣道徳・倫理教育研究開発推進室 Organization for Innovative Development of Educational Human Resources The Uehiro Research and Development Office for Moral Education
- W2 先端教育人材育成推進機構 次世代教育研究グループ〈西2号館〉 Organization for Innovative Development of Educational Human Resources Group for Research of Next-Generation Education
- E6 先端教育人材育成推進機構 教育実習グループ〈東6号館〉 Organization for Innovative Development of Educational Human Resources Group for Teaching Practice
- C4 国際交流/留学生センター〈中央4号館〉 International Student Exchange Center
- C5 ICT/情報基盤センター〈中央5号館〉 Center for Information and Communications Technology
- C6 学生相談室〈中央6号館〉 Student Counseling Office
- C6 障がい学生支援室〈中央6号館〉 Office for Students with Disabilities

- W7 環境教育研究センター〈西7号館〉 Field Studies Institute for Environmental Education
- E6 先端教育人材育成推進機構 国際教育グループ〈東6号館〉 Organization for Innovative Development of Educational Human Resources International Education Research Group
- E5 特別支援教育・教育臨床サポートセンター〈東5号館〉 Support Center for Special Needs Education and Clinical Practice on Education
- C1 理科教員高度支援センター〈中央1号館〉 Advanced Support Center for the Science Teachers
- 204 教育インキュベーションセンター〈本部棟〉 Center for Open Innovation in Education
- C9 こどもの学び困難支援センター〈中央9号館〉 Education Support & Research Center for All Children
- W4 W5 先端教育人材育成推進機構〈西4号館〉〈西5号館〉 Organization for Innovative Development of Educational Human Resources

事故等の連絡先

学内で次のような事故等がありましたら、至急正門守衛所に連絡してください。

042-329-7138 (ダイヤルイン)

- 火災を発見したら
- 不審者を発見したら
- 盗難を発見したら
- 傷病人等(車の事故等を含む)
- ガス・電気・水道等の事故



TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY
Guidebook for Student's Life 2026